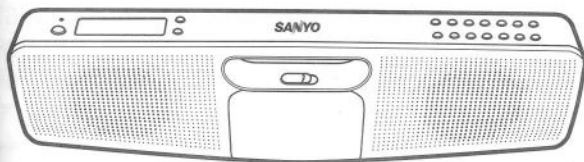


ポータブル MD 品番 MDG-U4R 取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございました。
正しくお使いいただくため、ご使用前に必ず取扱説明書をよくお読みください。
お読みになったあとは「いつでも見られる所」に「保証書」とともに大切に保管してください。



取扱説明書、本体には色番号の表示を省略しています。
梱包箱に表示している品番の()内の記号が色番号です。

この商品を使用できるのは日本国内のみで、国外では使用できません。

This appliance is designed for domestic use in Japan only and cannot be used in any other country.

はじめに	はじめに
準備	準備
聞きかた	聞きかた
MDに録音する	録音
録音したMDを編集する	編集
他の機器を接続して使う	接続
タイマーの使いかた	タイマー
その他	

● 詳しいもくじは1ページをごらんください。

● もくじ

はじめに 2~6

- 主な特長 2
- 安全上のご注意 3~6

準備 7~12

- 各部のなまえ 7~8
- お使いになる前に 9
- 電源について 10
- 時計の合わせかた 11~12

聞きかた 13~28

- 共通な操作 13~16
- MDを聞く前に 17
- MDを聞く 18~20
- ラジオ音声を聞く前に 21~22
- ラジオ音声を聞く 23~28

録音 29~37

- MDに録音をする前に 29~30
- MDに録音する 31~37
- 外部機器▶シンクロ録音 32~33
- 内蔵マイク・ラジオ音声録音 34~37

録音したMDを編集する 38~48

- 曲を移動する(MOVE機能) 38
- 曲を分ける(DIVIDE機能) 40
- 曲と曲をつなぐ(COMBINE機能) 41
- すべての曲を消す(ALL ERASE機能) 42
- 1曲ずつ消す(ERASE機能) 43
- ディスク名や曲名をつける前に 44
- ディスク(DISC)や曲(TRACK)に
名前をつける(NAME EDIT機能) 45~48
- ディスク名と曲名を修正する 47
- ディスク名と曲名を消去する 48

他の機器を接続して使う 49~50

タイマーの使いかた 51~58

- おめざめタイマーで音楽を聞く 51~54
- 留守録音をする 55~56
- 音楽を聞きながら眠る(スリープ) 57~58

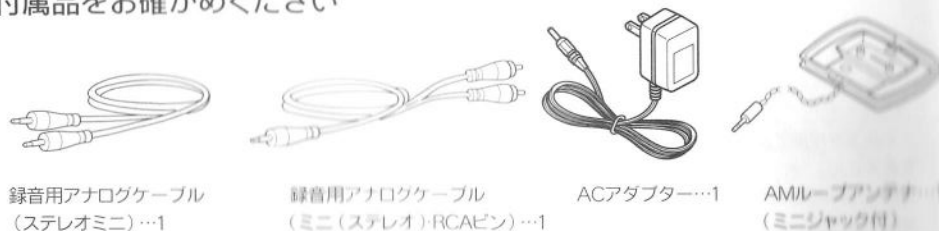
いろいろな機能 59

- その他の機能 59

その他 60~70

- MDの取扱いと保管 60~61
- 故障?その前にちょっとこれを! 62~64
- お客さまご相談窓口 65~67
- アフターサービスについて 68
- 仕様 69
- さくいん 70

付属品をお確かめください



録音用アナログケーブル
(ステレオミニ) ...1

録音用アナログケーブル
(ミニ(ステレオ)-RCAピン) ...1

ACアダプター...1

AM/FMアンテナ...1
(ミニジャック付)

● 主な特長

(1)業界初のスタイル!薄型・コンパクトでキャリアブルな録・再MDシステム誕生

- ポータブルMDのメカ回路技術に応用した高性能薄型MDユニットで薄型ボディを実現
- 単3型乾電池6本で駆動し、アウトドアでの使用を可能に
- ポータブル性に優れた40秒音飛びガードメモリー搭載
- CDプレーヤーをはじめCSやBS放送などデジタルソースからの録音も可能なデジタル入力端子を装備

(2)小型ボディでも立体感あふれる高音質と迫力のサウンドを実現

- 大口径ボイスコイル、大型ダンパー、UKPコーンペーパーを採用した新開発の薄型高性能スピーカー開発
- 新サラウンド方式のPASS(Pure Active Surround System)採用

(3)別売のパソコンキットと接続して簡単MD編集、らくらくタイトル入力

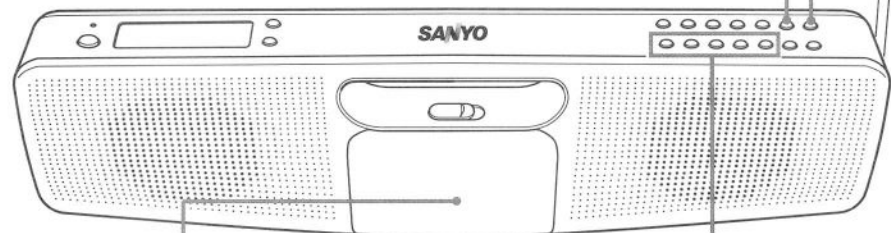
- 別売のパソコン接続キットを利用すればパソコン画面上でMDG-U4Rをコントロールし、様々な操作が可能です
- MDの基本操作や編集機能は接続したパソコンの画面を見ながら、キーボードやマウスで操作できます
 - パソコンのキーボードでスピーディにタイトル入力ができます

エリアバンドチューナーの搭載

- 全国主要の7大都市の放送局をメモリーしたエリアバンドチューナー機能 [P24]
- FMステレオが楽しめる機能 [P22]

便利なタイマー機能

- おめざめ(ON/OFF)タイマー [P51]
- 留守録音 [P55]
- おやすみ(スリープ)タイマー [P57]



ワンタッチ動作機能

- ボタンを一つ押すだけで電源が入りMD再生や放送が
スタートするワンタッチ動作機能 [P16]

多機能MDレコーダー

- 録音した年、月、日、時刻が記録できる録音日時自動記録機能 [P20]
- 録音モード(ステレオ/モノラル)が選べるMD録音 [P35]
 - モノラルで録音すると、録音できる時間が約2倍の長さになります。
- MDの便利な編集機能 [P38]
 - 曲を移動する(MOVE)機能
 - 曲を分ける分割(DIVIDE)機能
 - 曲と曲をつなぐ合成(COMBINE)機能
 - 曲を1曲ずつ消す(TRACK ERASE)機能
 - すべての曲およびディスク名を消す(ALL ERASE)機能
 - ディスク名、トラック名をつける(NAME EDIT)機能
(英文字・数字・カタカナ文字・記号の入力)

安全上のご注意

安全のため必ずお守りください

■絵表示について

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵表示の例

△の記号は「注意（警告を含む）をうながす事項」を示します。

○の記号は「してはいけない行為（禁止事項）」を示します。

●の記号は「しなければならない行為」を示します。

お願い この「安全上のご注意」のさし絵（マンガ）と本機とでは若干形状等が異なる場合がありますがご了承ください。



警告

万一、異常や故障が発生したときはすぐに使用をやめてください

次のようなときは、そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐに本体の電源ボタンで電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

●煙が出ている、変なにおいや音がする（異常状態）

煙が出なくなるのを確認し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
お客さまによる修理は危険ですから絶対おやめください。

●本機の内部に水などが入った

●異物が本機の内部に入った

●音が出ないなど（故障状態）

●落としたり、キャビネットを破損した

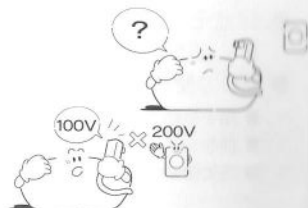
■国外では使用しない

本機をAC電源（交流100V）で使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。

This unit is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.



禁止



警告

■分解しない

本機を分解、改造しないでください。火災、感電の原因となります。内部の点検、調節、修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。



分解禁止



■本機の上に水などの入った容器を置かない

内部に水などが入った場合、火災、感電の原因となります。



禁止



■ぬらさない

- 本機をぬらさないようにご注意ください。火災、感電の原因となります。
- 風呂場、水辺、雨天の中などでは使用しないでください。



水ぬれ禁止



■異物を入れない

通風孔やディスク挿入口などから、金属類や燃えやすいものなど、異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。（特に小さなお子様にご注意ください。）火災、感電の原因となります。



禁止



■雷が鳴り出したら

アンテナ線やACアダプタープラグには絶対に触れないでください。感電の原因となります。



接触禁止



■ACアダプターコードを傷つけない

ACアダプターコードは無理な使いかたをするとコードが破損しますので、次のようなことはしないでください。

- ACアダプターコードの上に重いものを乗せない。
- 途中でつぎ足したりして加工しない。
- 無理に折り曲げない。
- 傷をつけない。
- ねじったり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。



禁止



ACアダプターコードが傷んだときは、お買い上げの販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。

■ACアダプターコード接続時の注意

次のことをお守りください。誤った使い方をするとう発熱などにより、火災の原因となります。

- プラグはコンセントへ確実に接続する。
- コードは束ねたまま使用しない。
- たこ足配線はしない。



■差し込み部分は定期的に点検を

定期的にプラグを抜いて、プラグとコンセントの間に付着したほこり、よごれなどを取り除いてください。ほこりにより、ショートや発熱が起こって火災の原因となります。



警告

■ 乾電池は充電しない

電池の破裂、液もれにより、火災・けがの原因となります。



禁止



■ 電源電圧100V以外で使用しない

表示された電源電圧 (AC 100 V) 以外の電圧で使用しないでください。火災、感電の原因となります。



禁止



注意

■ 置き場所に注意

- 湿気、ほこりの多い場所や、油煙、湯気が当たる場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。
- 窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など温度が高くなる場所に放置しないでください。火災、故障の原因となることがあります。



禁止



■ 不安定な場所に置かない

不安定な場所、棚などに置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。



禁止



■ ディスク挿入口に手を入れない

けがの原因となることがあります。(特に小さなお子様にご注意ください。)



指をはさまれないよう注意

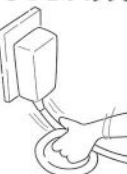


■ ACアダプタープラグを抜くときの注意

- めれた手でプラグをさわらないでください。感電の原因となることがあります。
- プラグを抜くときは、プラグを持って抜いてください。コードを引っばるとコードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。



禁止



■ ヘッドホン(またはイヤホン)の音量に注意

音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。



■ 音量に注意

電源を切るときは音量を小さくしておいてください。ワンタッチ動作機能で電源を入れたとき、突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。



注意

■ 持ち運びの注意

- ディスクを取り出してください。電源を切り、プラグをコンセントから抜いてから行なってください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。
- ロッドアンテナをたたんでください。伸ばしたまま持ち運びするとロッドアンテナがひっかかったり、当たったりしてけがの原因となることがあります。



電源プラグを
コンセントから抜き



■ クレジットカードなどをスピーカーに近づけない

本機のスピーカーには強力な磁石を使用していますので、時計、クレジットカード、磁気定期券、カセットテープ、ビデオテープなどは、本機のそばに置かないでください。データが壊れて使用できなくなることがあります。



禁止

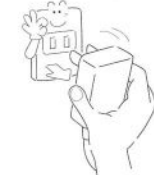


■ 長期間使用しない場合やお手入れの際の注意

安全のためプラグをコンセントから抜いてください。



電源プラグを
コンセントから抜き



■ 内部の掃除について

内部の掃除については、お買い上げの販売店にご相談ください。内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災、故障の原因となることがあります。



■ 乾電池使用上の注意

乾電池の使い方を誤ると、電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。次のことをお守りください。

- 指定以外の電池は使用しない。
- 極性(プラス ⊕ とマイナス ⊖)に注意し、表示通りに入れる。



- 種類の異なるものや、新しい電池と古い電池を混ぜて使わない。
- 電池を加熱、分解したり、火や水の中に投入しない。ショートさせない。



禁止



- 長時間(1週間程度)使用しないときは、電池を取り出しておく。



- 電池を携帯、保管するときは、金属性のボールペン、ネックレス、コイン、ヘアピンなどと一緒にしないでください。



禁止



もし、液もれが起こったときは、電池ケースについた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

■ 電磁波の発生する機器に近づけない

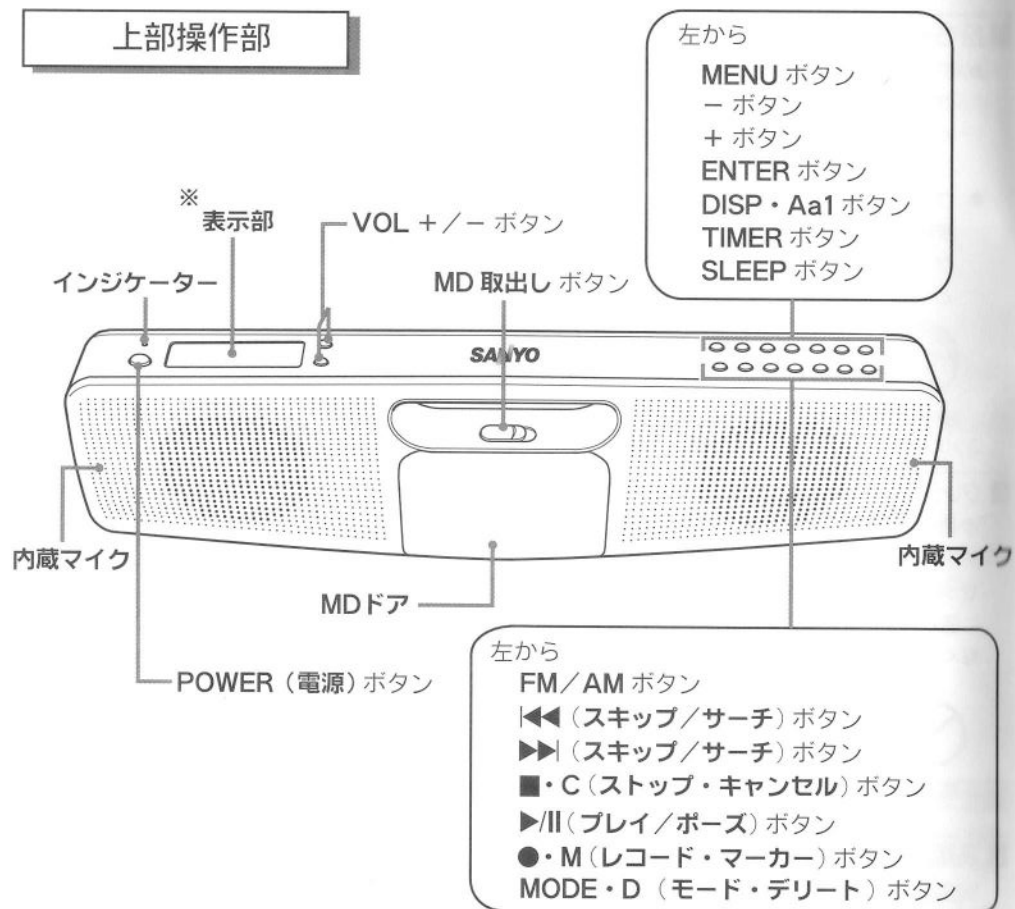
- 携帯電話、テレビやモニターに近づけない。電磁波のためにノイズが発生し、画面のちらつきや通信状態が悪くなるおそれがあります。



禁止

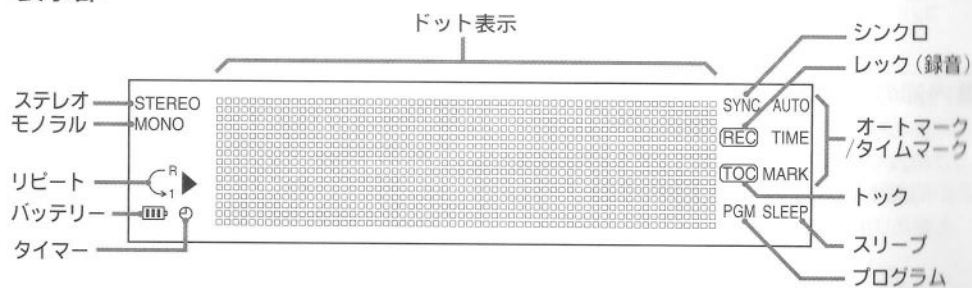
各部のなまえ

上部操作部

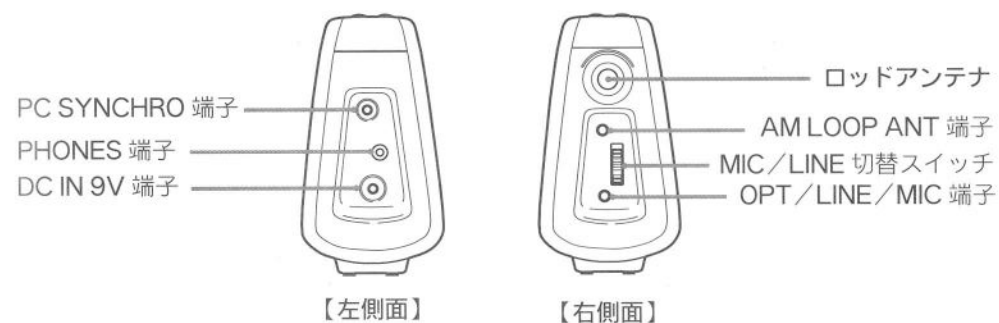


※表示部は操作終了後、10秒で消灯します。

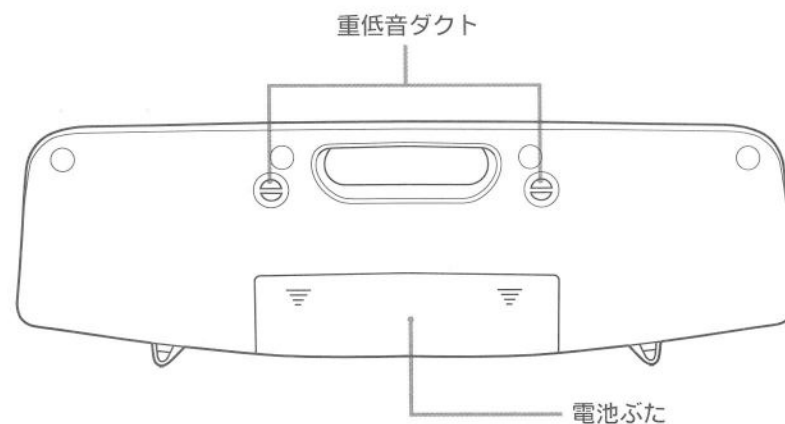
表示部



側面部



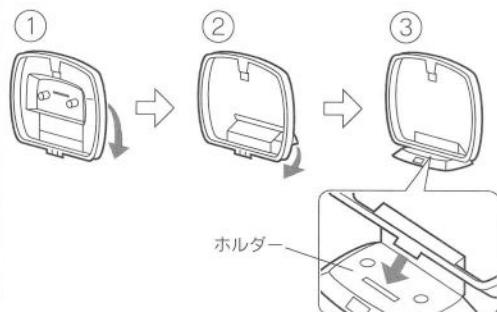
背面部



● お使いになる前に

付属のAMループアンテナの接続

AMループアンテナの組み立て

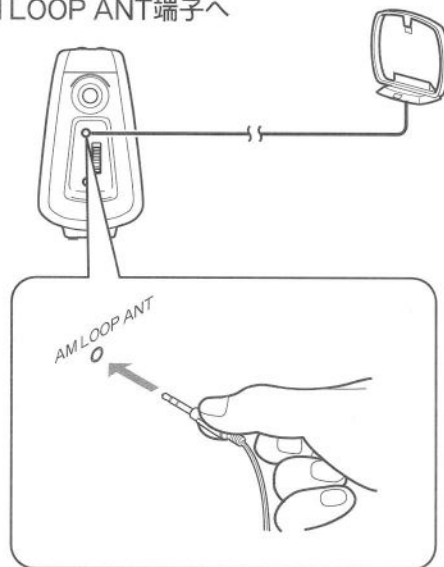


AMループアンテナは、AM放送を録音するときに必要です。接続しなくてはAM放送を録音できません。

- AMループアンテナは、アンテナホルダーを組み立て、AM放送が良く受信できる場所に置か、またはアンテナホルダーを壁などに取り付けてご使用ください。取り付けには市販の木ネジをご用意ください。
- AMループアンテナを本機やテレビなどの機器に近づけると、雑音が入りますので、できるだけ離してご使用ください。
- 鉄筋コンクリート造りの建物では、良好な受信ができない場合があります。

AMループアンテナの接続

AM LOOP ANT端子へ

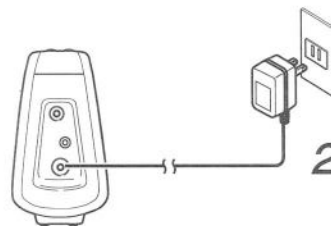


- 録音しないときは内蔵アンテナでも受信できますが、受信状態が悪い場合はAMループアンテナをご使用ください。

● 電源について

電源の接続

1 DC IN 9V端子へ



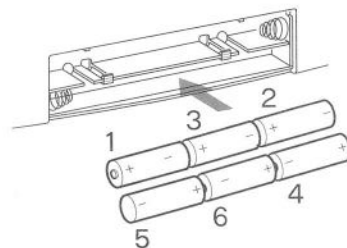
2 AC 100V コンセントへ

ご注意

ACアダプターを抜き差しするときは、POWERボタンで電源を切ってからおこなってください。MDに傷をつけたり故障の原因になります。

乾電池でご使用の場合

電池ぶたを開け、別売の単三アルカリ乾電池6本を図のように入れ、ふたを閉めます。



- 極性を間違えないように図に示す番号順に入れます。
- ACアダプターコードがDC IN 9V端子に接続されていると、乾電池ではなくAC電源で動作します。
- 本機を長時間使用しない場合や、長期間AC電源で使用する場合は、乾電池を取り出しておいてください。

電池交換の目安について

電池動作時、電池が消耗してくると表示部に電池マーク(電池の枠)が点灯します。

この時点で新しい電池と交換されることをおすすめします。

さらに電池が消耗しますと、以下の状態になります。

- ◆ 録音途中で“LOW BATTERY”表示が2秒間ですと、録音できなくなり録音は自動的に終わります。それまでの録音内容はMDに記録されます。録音ができませんが、再生はこの状態ではまだすこしできます。
- ◆ 再生途中で“LOW BATTERY”表示が2秒間ですと、その後はMD操作は受け付けません。さらに電池が消耗した状態では、MD操作はもちろんラジオ放送も受信できなくなり、表示部には“LOW-BATTERY”と表示し強制的に電源オフとなります。このときにはすみやかに電池を交換してください。

時計／メモリーのバックアップについて

ACアダプター及び電池がない状態でも内蔵している充電電池でカレンダーと、時計は満充電状態で約2ヶ月動き続けます。この時、表示部にカレンダーと時計は表示されません。

- ACアダプター及び電池がない状態で長い間放置しておくと、内蔵充電電池が放電して初期状態に戻ります。この時に充電(電池か、ACアダプターを接続)すれば、数時間後には充電されて、約1ヶ月位もちます。
- 時計表示が初期状態になったときは、充電後、時刻や年月日、タイマーの設定 [P11~12] をやり直してください。

●時計の合わせかた

年月日の合わせかた

年月日の合わせかた

- 年月日を正しく設定しないとMD録音するときに録音日時が正しく記録されません。
- 本機の時計は24時間表示になっています。12時間表示にしたい場合は後述の表示切り換えを参照ください。[P59]
- ご購入された時は、時計は初期設定状態になっています。「----.--.--」の表示が出て時計が動きだします。初期設定の状態は以下の通りです。
初めて電源を入れたときや、内蔵の時計バックアップ電池がなくなると初期設定状態になります。
- メニュー操作による時計カレンダーの表示状態で、10秒間操作せずに経過しますと、メニュー操作前の表示にもどります。

項 目	工場出荷時
タイマーオン時刻	0:00 (12:00AM)
タイマーオフ時刻	0:00 (12:00AM)
タイマーモード	PLAY
タイマーファンクション	MD
スリープ時間	60分

(例) '99年6月22日に合わせるとき

- 1 POWERボタン(電源)を押し、MENUボタンを押す。
押していくたびに表示部に以下のように表示される。
 >SOUND ⇒ >EDIT ⇒ >Rec MODE ⇒ >STATUS ⇒ 「----.--.--」
 ↑
 >STATUSと表示が出るまで押してください。

- 2 「STATUS」の表示のとき、ENTERボタンを押すと、年月日が表示される。
もう一度ENTERボタンを押すと、「年」の部分が点滅する。
年月日が未設定状態の時は1999年4月1日になります。

'99.04.01
C1k 10:35
点滅

- 3 「+」または「-」ボタンを押して「年」を合わせる。
 ● 西暦2000年以降のときは、2000年:00、2001年:01と合わせてください。
 ENTERボタンを押すと「月」の表示部が点滅する。

'99.04.01
C1k 10:35

- 4 上記2、3と同様に「月」を合わせる。

'99.06.01
C1k 10:35

- 5 上記2、3と同様に「日」を合わせる。
 ● 「22」の点滅が止まり、下段の時間が点滅します。

'99.06.22
C1k 10:35

- 上記1～5の操作中、■・Cボタンを押すと、年月日合わせを中止することができます。この場合、元の年月日のままとなります。

時刻の合わせかた

本機の時計は24時間表示です。

- ◆ 12時間表示「AM(午前)/PM(午後)表示」に切り換えてご使用いただけます。[P59]

(例) 18:30(午後6時30分)に合わせるとき

“年月日の合わせ方”操作を終了して、続けておこなってください。

- 1 「+」または「-」ボタンを押して「時」を合わせる。

'99.06.22
C1k 18:35

- 2 ENTERボタンを押す。

'99.06.22
C1k 18:35

- 3 「+」または「-」ボタンを押して「分」を合わせる。

- 分表示が「59」から「00」になっても、「時」表示は繰り上がりません。

'99.06.22
C1k 18:30

- 4 ENTERボタンを押す。
 点滅が止まり、時計は0秒からスタートします。
 秒単位で正しく時刻合わせをするには

電話の情報サービス(117番:有料)を利用すると便利です。
 あらかじめ上記1～3操作をしておき、時報と同時に「分」点滅状態でENTERをボタンを押してください。

- 上記1～3の操作中、■・Cボタンを押すと、時刻合わせを中止することができます。この場合、元の時刻のままとります。

● 共通な操作



電源を入／切する

POWER ボタンを押す。

- 表示部に「HELLO!」が表示されます。
- インジケータランプおよび表示部が点灯します。
- ファンクションモードは電源を切る前のモードになります。



POWER

もう一度押すと電源が切れる。

- 表示部に「SEE YOU!」が表示されます。
- インジケータランプおよび表示部が消灯します。
- 通電中は表示部に現在日付と現在時刻が表示されます。
- 電源は切れても各種メモリーは保持されます。

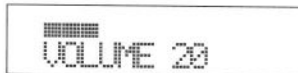
電源が入らない（POWERインジケータランプが点灯しない）時にはA C アダプターが接続されているか？または、電池が入っているか？ 確認してください。

※表示部が点灯後何も操作しなければ、約10秒後に消灯します。

音量を調節する

VOL ボタンで調節する。

音量レベルは表示部にパターン表示と数値で表示されます。



- 電源を切ったときや停電時でも、切る前の音量が保持されます。
- ただし、音量を最大付近まで上げていた場合は、音量レベル値がVOL38のレベルまで自動的にしぼられます。
- 録音中に音量レベルを変えても、録音には影響しません。

音量調節時のご注意

MDはノイズが少なく、レコード、カセットテープのようにノイズを聞きながらVOLを調節しますと、思わぬ大音量になることがありますのでご注意ください。

音のエチケット

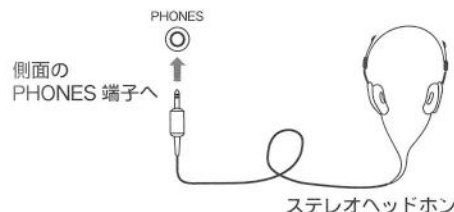


楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。音量は時間と場所にに応じて適度に調節してください。特に夜間の音楽鑑賞には気をくばりましょう。窓を閉めたりヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。

(つづく)

ヘッドホンで聞く

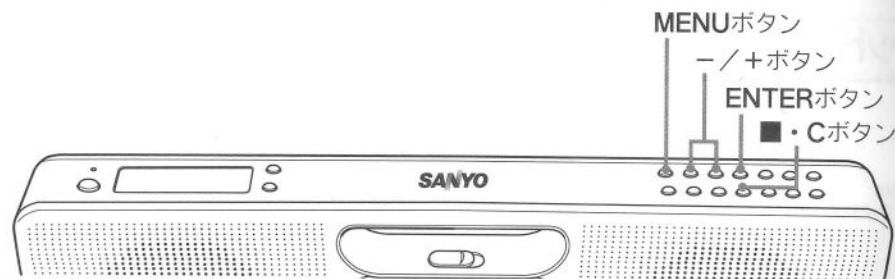
- ミニプラグ付のヘッドホンをご用意ください。



ご注意

ヘッドホンでお聞きになるときは、耳を刺激するような大きな音量で長時間お聞きにならないように。特に、MDを再生するときはご注意ください。

聞きかた



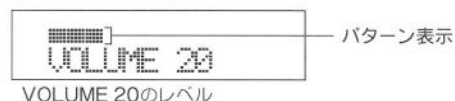
好みの音質と重低音を設定するには

- 1 MENUボタンを1度押して>SOUNDを選択しENTERボタンを押す。
- 2 「SOUND PRESET VIVID」と表示部に表示がでる。(工場出荷時はVIVIDに設定されています。)
- 3 ENTERボタンを押して点滅させる。
- 4 希望の音質(VIVID/MILD/VOCAL/NORMAL)にあわせるには「+」または「-」ボタンを押して選択する。
- 5 音質の選択をきめるにはENTERボタンを押す。
 - 低音域と高音域を強調したいとき (ロックミュージックなど) VIVID
 - 低音域を強調したいとき(ポップスなど) MILD
 - 高音域をおさえて中低音域を強調したいとき VOCAL
 - 低音域から高音域までフラットな特性で聞きたいとき(クラシックなど) NORMAL
 - 電源を切ったときは、切る前の音質が保持されます。
 - 電源を切ったときは、切る前の音量レベルが保持されます。
 - 音質・レベルを変えても、録音には影響しません。
※ ■・Cボタンを押すとキャンセルされ、もとの音質に戻ります。
- 1 MENUボタンを1度押して>SOUNDを選択しENTERボタンを押す。
- 2 「SOUND PRESET VIVID」と表示部に表示がでる。
- 3 MENUボタンを押す。
表示部に「BASS ON/OFFとBRILLIANT/LIVE/EFFECT OFF」が表示される。
- 4 ENTERボタンを押して「BASS ON」を点滅させる。
- 5 BASS ON/OFFを選択するには「+」または「-」ボタンを押して選択する。
- 6 ENTERボタンを押して「BRILLIANT/LIVE/EFFECT OFF」を点滅させる。
- 7 BRILLIANT/LIVE/EFFECT OFF 選択するには「+」または「-」ボタンを押して選択する。
 - BRILLIANT: ボーカルを生き生きさせる音を再生します。
 - LIVE: ライブ録音されたコンサートの雰囲気を再現します。
 - EFFECT OFFは、録音された音をステレオに再現します。
- 8 最後に ENTER ボタンを押す。
これで音質/重低音の設定が終わりです。

音量レベル表示

音量レベルが表示部に次のように表示されます。

音量レベル表示



本体のVOLボタンを押すと、そのときの表示部の表示内容にかかわらず現在の音量レベルとパターン表示(12段階)を約2秒間表示します。

VOLボタンを押し続けると音量レベルとパターン表示を確認しながら音量を変えることができます。

デモモード表示

MD使用時に■・Cボタンを5秒間押し続けるとデモモードになり、各モード表示などが順に表示されます。

- デモモードに設定すると、デモモードを解除しない限り、MDファンクションのストップ状態で30秒間放置されると、デモモード表示が始まります。
- デモモード中でも、MD以外のファンクションや、MDファンクションのストップ以外では通常の表示となります。
- デモモード中でも、通常の操作はおこなえます。
- 電源を切ってもデモモードは保持されます。

デモモードを解除するには……

MDファンクション時に、■・Cボタンを再度5秒間押し続けると、デモモードは解除され、電源が切れます。

「デモモードの種類を紹介」



ワンタッチ動作機能について

電源が切れている状態でも、ボタンを一つ押すだけで自動的に電源が入り、再生や放送が始まります。

(MDが入っていないときに▶/II ボタンを押すと電源ONになりNO DISCと表示します。)



- MD再生が始まります。



- 放送を聞くことができます。

- MDファンクション時のリピート再生や、チューナーの周波数などは、電源を切る前のモードでスタートします。
(電源を切ったあとでMDを入れ替えた場合には、再生方法は解除されます。)

MDの取り出しもワンタッチで



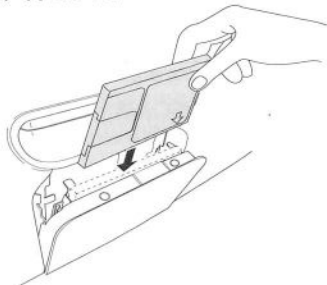
- MD 取出しボタンを右にスライドすると、ふたが開いてMDが出てきます。

- ファンクションは、電源を切る前と同じになります。

●MDを聞く前に

MDについて

MDの入れかた



- ラベル面を手前にして、MD上面の矢印の向きを下にして、MDドアのホルダー内へMDが止まるまで差し込み、ふたをしめます。

〔文字情報 英語〕マークについて

- 市販の再生用MD（音楽ソフトなど）に上記のマークがついていると、そのMDの文字情報（曲名など）を表示します。
- ディスク名や曲名が入っていないMDやひらがな、漢字などで入力されている場合は、ディスク名や曲名は表示されません。



ちょっとこれを！

- 再生中、近くに置いたテレビに色ズレを生じたり、ラジオに雑音が入る場合は、本機と他の機器とを離してください。
- MDは振動に対して音とびしにくくなっていますが、連続した振動に対しては、音がとぎれることがあります。



のマークが入ったMDをご使用ください。

- 上記マークのないMDは使用しないでください。故障の原因になります。
- 表示されるMDの全再生時間はお使いの機器により、多少のズレがある場合があります。

●MDを聞く

(つづく)

MDの通常再生

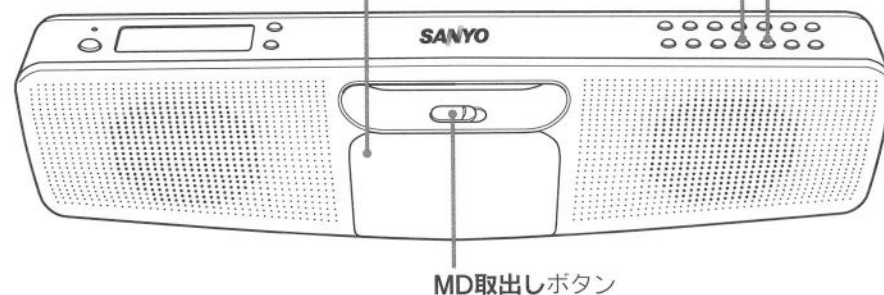
1 MDを入れる。

2 ボタンを押す。

一曲目から再生します。



■・Cボタン



MD取出しボタン

● 再生を途中で止めるには...

■・C ボタンを押す。

● 再生を一時的に止めるには...

ボタンを押す。



「▶」が点滅

もう一度押すと再び再生が始まります。

MDを止めた状態で5分間放置しますと、自動的にパワーオフの状態になります。

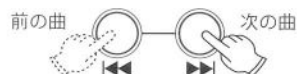
スリープ動作中やタイマー動作中もパワーオフしますが、以下の3点に該当する時は自動パワーオフはしません。

1. デモモード時
2. PC(パソコン)接続時
3. モニターモード時

曲の頭出し(スキップ)

◀◀/▶▶(スキップ/サーチ) ボタンを押すと、1曲ずつスキップする。

再生中は、最後の曲から最初の曲へのとび越し又は、最初の曲から最後の曲へのとび越しはできません。(全曲リピートを除く)



- 曲の途中でボタンをクリックした場合、再生中の曲頭に戻ります。

早戻し/早送り(サーチ)

再生中や一時停止中に、◀◀/▶▶(スキップ/サーチ) ボタンを押し続け、聞きたいところになったら指を離す。



- 再生中にボタンを押し続けても指を離せば再度再生し始め、一時停止中にボタンを押し続けても指を離せば再度一時停止に戻ります。
- ▶▶状態最終曲の終わりまで来て、指を離したとき停止状態になります。
- ◀◀状態で1曲目の頭までくると、指を離したとき1曲目の一時停止になります。

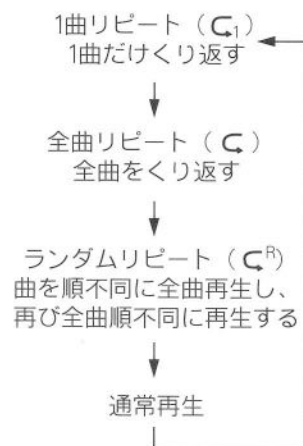
繰り返し(リピート)演奏

再生前または再生中にMODE・D ボタンを押す。



「C」が点灯

押すたびに以下のように変わります。



- 全曲リピート中は、1曲目と最終曲の曲のとび越しができます。
- ランダムリピート中は、前曲へのスキップはできません。
また、早送りの場合は次のランダム曲の最初で、早戻しの場合は曲頭で一時停止します。

リピートを解除するには

- MODE・D ボタンをリピート表示「C」が消えるまで押す。

下記の操作でも解除できます。

- MD取出しボタンでMDドアを開ける。
- 停止状態でMDの ■・C ボタンを押す。
- 再生状態でMDの ■・C ボタンを2回押す。

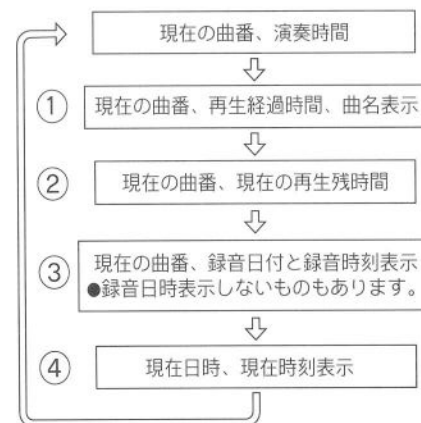


聞きたい曲から聞くには

停止状態の時、◀◀/▶▶(スキップ/サーチ) ボタンで選曲し、▶/|| (プレイ/ポーズ) ボタンを押して再生をスタートします。

表示の切り換え

再生中にDISP・Aa1ボタンを押すと、押すたびに表示部は次のように切り換わります。



- 停止中は全曲数、全再生時間を表示します。(ディスク名も表示)
- MDが入っていないときは「NO DISC」を表示します。

ラジオ音声を聞く前に

本機では3つの方法で選局ができます。

- | | |
|-----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| アップ/ダウン選局 | 受信したい放送局の周波数(チャンネル)に自動(オートスキャン)または、手動(マニュアル)で合わせます。 [P23] |
| エリアバンド選局 | 札幌(北海道地区)、仙台(東北地区)、東京(関東地区)、名古屋(中部、北陸地区)、大阪(近畿地区)、広島(中国、四国地区)、福岡(九州地区)でご利用になる場合、地域名(エリア)とプリセット番号を選ぶだけで受信します。 [P24~27] |
| プリセット選局 | ご自分でプリセット(プログラム)した放送局を受信するときに使います。 [P28]
FM、AMでそれぞれ10局までプリセットできます。 |



ちょっとこれを!

- テレビに色ズレが生じたり、本機にテレビの雑音が入る場合は、本機とテレビを離してご使用ください。
- AMステレオ放送には対応していません。
- ラジオ放送から録音するときは、本機をパソコンから離すか、パソコンの電源を切っておいてください。

FMステレオ放送の受信について

MODE・D ボタンを押すたびに、ステレオモードとモノラルモードが交互に変わります。ステレオモード時は、ステレオ放送を受信すると、自動的に表示部に「STEREO」を表示してステレオ放送になります。



受信状態が悪いと「STEREO」が表示されないことがあります。

この場合、モノラルモード(「MONO」表示)にすると、ステレオにはなりません聞きやすくなります。

- 設定されたモードは、バンド、ファンクションの切り換え、受信周波数の変更、電源の切→入によっても変わりません。

受信中に別の音(ピーという音)がはいるときは

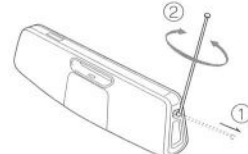
- ① STATUS の表示がでるまでMENUボタンを押す。
- ② ENTERボタンを押す。
- ③ BEAT CANCEL の表示がでるまでMENUボタンを押す。
- ④ ENTERボタンを押す。
表示部に「BC-1」か「BC-2」が点滅します。
- ⑤ 「+」または「-」ボタンを押す。
ボタンを押すたびに「BC-1」↔「BC-2」が表示部に交互に表示されますので、ENTERボタンを押してBEAT CANCELを切り替え受信状態が良くなる方を選んでください。

注意: ビートキャンセルの切り替えができるのはラジオ放送受信時のみです。

よりよい受信をするためには

アンテナの調節をしてください。

FM放送のとき



ロッドアンテナを根本まで全部出して伸ばし、図のように回転させ、もっとも良く聞こえるようにします。

AM放送のとき



バーアンテナで聞くときは本機の方向を調整します。付属のAMループアンテナを接続して聞くときは本機から離し、アンテナの向きを変えて、もっとも良く聞こえるようにします。(AMループアンテナの接続 **[P9]**)

周波数(チャンネル)は次のように変わります

選局中、各バンドの上限、下限に達すると、周波数(チャンネル)は各バンドの下限、上限に移ります。

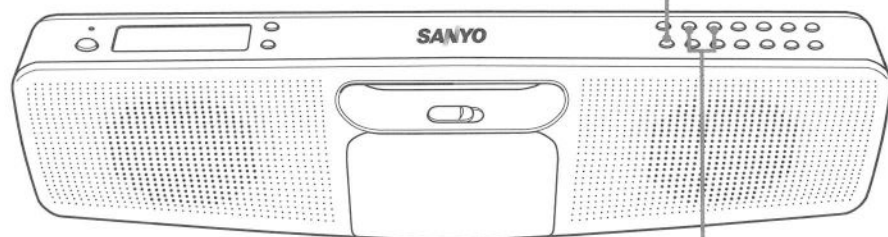


ラジオ音声を聞く

アップ／ダウン選局

1  ボタンで聞きたいバンドを
FM/AM
選ぶ。

- POWERボタンで電源入れたときは、前に受信していたバンドと周波数が表示されます。



2

マニュアル（手動）選局

表示部で周波数を確認しながら受信します。

「+」または「-」ボタンをポンポンと押す。
放送局を選びます。

オートスキャン（自動）選局

自動的に放送局を受信します。

「+」または「-」ボタンを1秒以上押す。

周波数が自動的に進み、放送を受信すると自動停止します。

- 電波が弱く受信状態が悪い場合は、自動停止しないことがあります。
- 周囲に妨害電波がある場合は、その電波で自動停止することがありますが故障ではありません。
- ボタンを押し続けていると、自動停止しません。



ちょっとこれを！

- 選局時、周波数は正しく合わせてください。
新聞の番組欄を利用すると便利です。

（つづく）

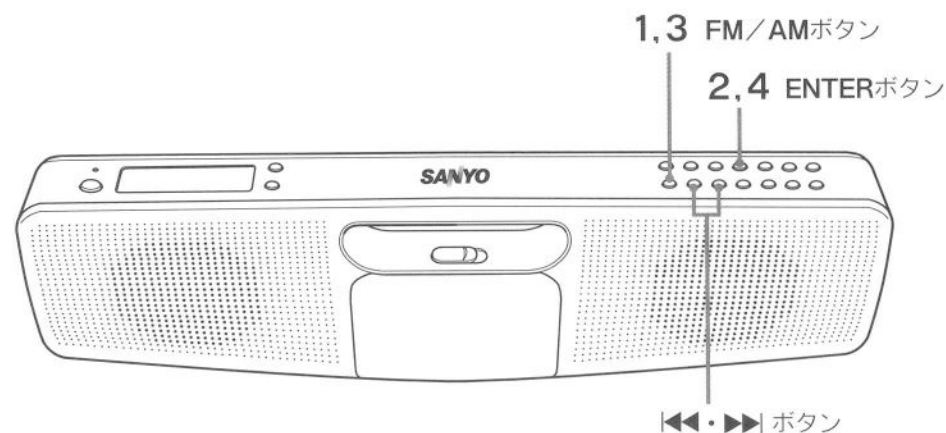
エリアバンド選局

エリア（7地区）別に主な放送局の周波数やチャンネルがすでに登録（プリセット）されています。

[P27]

本機をお使いになる地域（エリア）にあわせてエリアバンドを切り換え、希望の放送局のプリセット番号を選ぶと放送を受信します。（工場出荷時は大阪に設定されています。）

- エリアバンド以外の地域の放送を受信する場合は、プリセット選局 [P28] に従ってご自分でプリセットするかまたはアップ／ダウン選局で受信してください。



1,3 FM/AMボタン

2,4 ENTERボタン

◀◀・▶▶ ボタン

聞きかた

ラジオ音声を聞く

エリアバンドプリセットを切り換える

- 1 FM/AM ボタンを押してチューナーファンクションにする。
どのバンドでもかまいません。

(例) 大阪地区のFM放送のプリセット番号1の局の内容を表示

STEREO FM PRESET 1
76.5 MHz

- 2 ENTER ボタンを押す。
●「PGM」が点滅中にもう一度押すと取り消されます。

STEREO FM PRESET 1
76.5 MHz

「PGM」が点滅

- 3 「PGM」が点滅している間に、FM/AM ボタンを繰り返し押ししてご希望のエリアを表示させる。

- ボタンを押すたびに次の順序でエリアが切り換わります。
オオサカ(大阪)→ヒロシマ(広島)→フクオカ(福岡)
→サッポロ(札幌)→センダイ(仙台)→トウキョウ(東京)
→ナゴヤ(名古屋)→オオサカ…

STEREO AREA NAME
トウキョウ

(例) 東京

- 4 「PGM」が点滅している間に、ENTER ボタンを押す。

FMバンドのプリセット番号1の局を表示します。

このとき、FM、AM、バンドのプリセット局は全て、そのエリアの初期状態(工場出荷時のプリセット内容)になります。[P27]

(例) 東京地区のFM放送のプリセット番号1の局の内容を表示

STEREO FM PRESET 1
76.1 MHz

プリセット番号で選局する(ダイレクト選局)

この操作で放送局を選局してください。

- 1 FM/AM ボタンを押してバンドを選ぶ。
- 2 「◀◀」または「▶▶」ボタンでご希望のプリセット番号を表示させる。

FM、AM放送は [1] ~ [10]

(例) AMバンドを選び3の番号を表示したとき。

(エリアバンド)

(プリセットされた放送局)

東京(トウキョウ)

のときは「FEN」

大阪(オオサカ)

のときは「NHK第2」

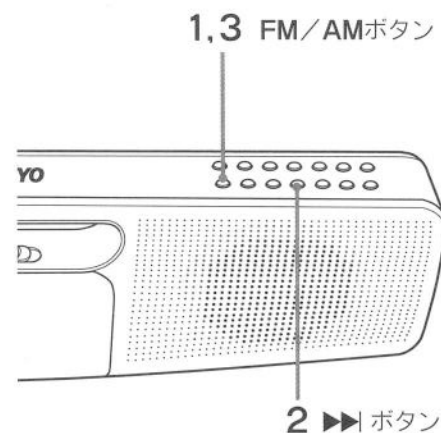
名古屋(ナゴヤ)

のときは「CBC中部日本」

をそれぞれ選局します。

(つづく)

選局する(プリセットスキャン選局)



- 1 FM/AM ボタンを押してご希望のバンドを選ぶ。

- 2 「▶▶」ボタンを約2秒以上押す。
P,SCANを表示し、点滅しながらプリセット局を順次約5秒ずつ受信します。
●一通り受信すると、ボタンを押す前の放送を受信します。

- 3 ご希望の放送を受信したとき、約5秒以内にFM/AMボタンをボンボンと2度押すと、ご希望の放送を受信し続けます。

2の操作で「◀◀」または「▶▶」ボタンを軽くボンボンと押して、ご希望のプリセット番号を表示させることもできます。

- プリセット局を受信中は、ボタンを押すたびに次のプリセット局に移ります。

- プリセット局以外を受信中は、「▶▶」ボタンを押すと、最初にプリセット番号 [1] の局を受信します。

そして「◀◀」ボタンを押すと、プリセット番号の最終番号の局を受信します。

エリアバンドプリセット一覧表 (□内数字はプリセット番号を示します。)

福岡(フクオカ)：九州、沖縄地区 AM放送 ① NHK第1 612 kHz ② NHK第2 1017 ③ RKB毎日 1278 ④ 九州朝日 1413 FM放送 ① FM中九州 77.4 MHz ② FM佐賀 77.9 ③ FM九州 78.7 ④ FM長崎 79.5 ⑤ FM鹿児島 79.8 ⑥ FM福岡 80.7 ⑦ FM宮崎 83.2 ⑧ NHK・FM福岡 84.8 ⑨ FM沖縄 87.3 ⑩ FM大分 88.0	名古屋(ナゴヤ)：中部、北陸地区 AM放送 ① NHK第1 729 kHz ② NHK第2 909 ③ CBC中部日本 1053 ④ 東海ラジオ 1332 ⑤ 岐阜ラジオ 1431 FM放送 ① FM福井 76.1 MHz ② FM名古屋 77.8 ③ FM三重 78.9 ④ FM静岡 79.2 ⑤ FM長野 79.7 ⑥ FM石川 80.5 ⑦ FM愛知 80.7 ⑧ NHK・FM名古屋 82.5 ⑨ FM富山 82.7	札幌(サッポロ)：北海道地区 AM放送 ① NHK第1札幌 567 kHz ② NHK第2札幌 747 ③ 北海道放送 1287 ④ STVラジオ 1440 FM放送 ① FM北海道 80.4 MHz ② FMノースウェーブ 82.5 ③ NHK・FM札幌 85.2
広島(ヒロシマ)：中国、四国地区 AM放送 ① NHK第2 702 kHz ② NHK第1 1071 ③ 中国放送 1350 ④ 山陽放送 1494 FM放送 ① FM山陰 77.4 MHz ② FM広島 78.2 ③ FM香川 78.6 ④ FM山口 79.2 ⑤ FM愛媛 79.7 ⑥ FM徳島 80.7 ⑦ FM高知 81.6 ⑧ NHK・FM広島 88.3	大阪(オオサカ)：近畿地区 AM放送 ① 関西放送 558 kHz ② NHK第1 666 ③ NHK第2 828 ④ ABC朝日 1008 ⑤ 京都放送 1143 ⑥ 毎日放送 1179 ⑦ ラジオ大阪 1314 FM放送 ① FM CO・CO・LO 76.5 MHz ② FM滋賀 77.0 ③ FM802 80.2 ④ FMもりぐち 82.4 ⑤ NHK・FM京都 82.8 ⑥ FM大阪 85.1 ⑦ NHK・FM神戸 86.5 ⑧ NHK・FM大阪 88.1 ⑨ FM京都(α-STATION) 89.4 ⑩ FM兵庫(Kiss FM) 89.9	仙台(センダイ)：東北地区 AM放送 ① NHK第1 891 kHz ② NHK第2 1089 ③ 東北放送 1260 FM放送 ① FM岩手 76.1 MHz ② FM仙台 77.1 ③ FM青森 80.0 ④ FM山形 80.4 ⑤ FM福島 81.8 ⑥ NHK・FM仙台 82.5 ⑦ FM秋田 82.8
		東京(トウキョウ)：関東地区 AM放送 ① NHK第1 594 kHz ② NHK第2 693 ③ FEN 810 ④ TBS 954 ⑤ 文化放送 1134 ⑥ ニッポン放送 1242 ⑦ ラジオ日本 1422 FM放送 ① FMインターネット 76.1 MHz ② 放送大学 77.1 ③ FMサウンド千葉(bayfm) 78.0 ④ FM埼玉(NACK 5) 79.5 ⑤ FM東京 80.0 ⑥ FMジャパン(J-WAVE) 81.3 ⑦ NHK・FM東京 82.5 ⑧ FM富士 83.0 ⑨ FM横浜 84.7 ⑩ FM群馬 86.3



各バンドとも全てのプリセット番号(FM、AMは□1～10)に上記の放送局やある特定の周波数(チャンネル)がプリセットされています。

プリセット選局

ご希望の局を選局した後、その受信周波数をプリセットしておく、「◀◀」または「▶▶」ボタンを使って簡単に選局できます。FM、AMでそれぞれ10局までプリセットできます。



1 アップ/ダウン選局 [P23] で放送局を受信する。



(例) 89.4MHzの放送を受信した場合

2 ENTER ボタンを押す。

●「PGM」が点滅中にもう一度押すと取り消されます。



「PGM」が点滅

3 「PGM」が点滅している間に、「◀◀」または「▶▶」ボタンでプリセット番号2を表示させる。

(例) プリセット番号「2」にプリセットするとき



プリセット番号「2」と「PGM」が点滅

4 ENTER ボタンを押す。



5 同じバンド内で他局をプリセット選局する場合は、上記1～4を繰り返す。

6 ちがうバンドでプリセット選局する場合も、FM/AM ボタンでバンド切り換え1～4を繰り返す。

プリセットした局を選局するには、ダイレクト選局 [P25] かプリセットスキャン選局 [P26] の方法でおこなってください。



- 初めて操作するときは、各バンドとも、ある特定の周波数(チャンネル)がすでにプリセットされています。
[P27]
- すでにプリセットされているプリセット番号に新しくプリセットすると、前のプリセットは取り消されます。

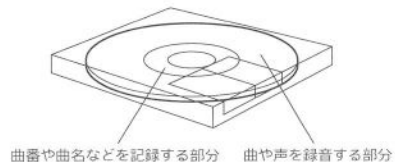
MDに録音をする前に

MDへ録音 ラジオ、内蔵マイク、外部マイク、ライン入力およびPCシンクロ端子から録音できます。

MDの書き込みについて

ミニディスクには、曲や声を録音する部分と、曲番や曲名などの情報を記録する部分があります。

ミニディスクは音声を録音したあとで、曲を認識するための情報(TOC)を記録します。再生するときは、このTOCを手がかりとします。また、曲の編集をするときもTOCを書き換えることによっておこなわれます。



ご注意

このTOCは次のようなときにMDに書き込まれるようになっています。

- 録音を停止したとき
- 録音中に他の入力(ファンクション、ライン/内蔵マイク)に切り換えたとき
- 電源を切ったとき(POWER オフの状態)
- ストップ状態で表示部にPC CONNECTと表示がないときで編集したとき
- 録音中、バッテリーの電圧が不足したとき
- AM放送録音中アンテナ端子を抜いたとき
- 録音中TOC/DISC FULLになって録音停止するとき
- OFF TIMEでパワーオフするとき

TOC表示はディスクの書き込みが終わっていないことを表します。

TOC

録音時は電流消費が多くなるので、できる限りACアダプターまたは、新しい電池で録音されることをおすすめします。

電池がなくなると自動的に録音は終了します。

「TOC」表示が点灯および点滅しているときは、本体をたたいたり、揺らしたりして強い衝撃や連続的な振動をあたえないでください。音切れや、録音が停止する場合があります。録音終了直後の「TOC」表示点滅しているときに本体に強い衝撃や連続的な振動をあたえたり、またACアダプターコードを抜いたりするとTOCが書き込まれないため、正しく再生できなくなります。

MDの残り時間を確かめるには

本機にMDを入れてふたをしたあと、DISP・Aa1 ボタンを押す。

MDファンクションでストップの場合

Rec REMAIN
5 - 4.35

- MDの録音中に押すと録音可能時間が減ってきます。

録音可能な残り時間 4分35秒

曲番について

ラジオ放送からOPT/LINE/MIC端子に接続した機器から録音するとき無音部分が約1.5秒以上続く所を曲間とみなして、曲番を自動的につけます。(オートマーカー機能 [P36])



- 録音したあとで、曲を分けることもできます。
- オートマーカー機能は全てのソース(ラジオ、内蔵マイク、LINE)についてはたきません。
- デジタル録音でソースがCD、MD、DATの場合、ソースと同じ位置で曲がマーカーされます。
- 録音する信号によっては、オートマーカー機能で正確な位置に曲番が見つからないことがあります。

モニターについて

OPT/LINE/MIC端子を使って録音状態にしますと、表示部に以下のように表示します。

OPT入力の場合 OPT MONITOR

LINE入力の場合 LINE MONITOR

MIC入力の場合 LINE MONITOR

モニター音量はVOL + / - ボタンで調節できます。

- 再生専用MDでも録音用MDで録音が一杯(DISC FULL)でできなくともモニター音は聞けます。

MDに録音をする

シンクロ録音 [P32~33]

MDに現在録音されている曲はそのまま残り、その続きから自動的に録音をスタートします。

デジタル出力端子を持つ外部機器からも録音できます。

マニュアル録音 [P34~37]

途中まで録音済のMDに続けて録音できます。

ラジオ・外部マイクから録音する場合などに便利です。

シンクロ録音について...

録音をスタートしても無音状態であれば録音は開始されません。

音が入力されて初めて録音をスタートします。また、録音中に無音状態が5秒以上続くと一時停止状態になります。(一時停止状態が3分以上続くと録音は自動的に停止状態になります。)

CD・MDからデジタル録音する場合には、CD・MDを停止か一時停止状態にすると本機もすぐに一時停止します。

次に音が入力されると新しいトラックとして録音が再開されます。



ちょっとこれを!

ご注意

- 録音中(「TOC」点灯)および「TOC」を書き込み中(「TOC」点滅)に電池またはACアダプターを抜くと、MD取出しボタンを操作してもMDが動かず、MDが取り出せなくなることがありますので、このような操作はしないでください。

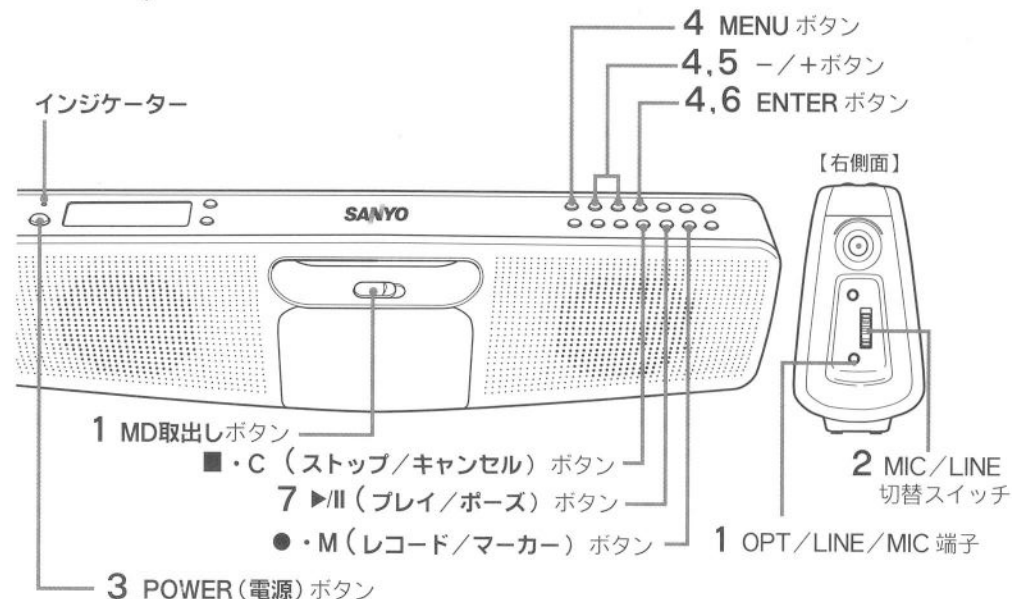
万一電池またはACアダプターを抜かれた場合は、電池またはACアダプターを入れてください。

つぎにPOWERボタンを押し■・Cボタンを押して数秒後に、MD取出しボタンを操作してMDを取り出してください。

- 録音中はできるだけ音量をさげることをおすすめします。

(つづく)

外部機器 ▶ シンクロ録音



- 1 MDを入れ、外部機器のラインアウトからの端子をOPT/LINE/MIC端子につなぐ。

- 外部入力をOPT/LINE/MIC端子に差し込むときは、MDは停止状態でしてください。

- 2 MIC/LINE切替スイッチを「LINE」にする。

- 3 POWERボタンを押し、「ON」(インジケータ点灯)

にしてから  ボタンを押す。

MDに録音をする

4 表示部に「SYNC」を表示させる。

- ① MENU ボタンを押して「Rec MODE」表示がでるまで押す。
- ② ENTER ボタンを押す。
- ③ MENU ボタンを押す。

「MARK OFF」と「SYNC OFF」が表示されます。

(工場出荷時設定)

- ④ ENTER ボタンを押す。

「+」または「-」ボタンで「LEVEL MARK」/「TIME MARK」/「MARK OFF」の選択をします。

- 「LEVEL MARK」を選ぶと、レベルマーカー機能が働きます
 - 「TIME MARK」を選ぶと、タイムマーカー機能が働きます。
- レベルマーカー/タイムマーカーの機能については[P37]を
ごらんください。

- ⑤ ENTER ボタンを押す。

「SYNC ON」または「SYNC OFF」の表示が点滅します。

LEVEL MARK
SYNC ON

「SYNC ON」が表示

LEVEL MARK
SYNC ON

「SYNC ON/OFF」が点滅

5 「+」または「-」ボタンでSYNC ONを選ぶ。

- 内蔵マイクと外部マイクで録音するときには「SYNC OFF」にしてください。
小さい音量の入力時には録音が一時停止状態になって記録されないことがあります。

6 ENTER ボタンを押す。

7 〇 ボタンを押す。

- 録音開始位置は、現在録音されている曲番の次の曲番から始まります。
(以前に録音されていたものはそのまま残ります。)

- シンクロマーカー機能により、外部機器と同じところに1曲ごとに曲番
が自動的につきます。

- シンクロマーカー機能がはたらくのはデジタル録音で外部機器がCD、
MD、DATのときのみです。これら以外のデジタル録音やアナログ録音
のときには「LEVEL MARK」が「ON」になっていないと、曲番はつき
ません。

- 録音日時を自動的に記録します。

録音が終わると、外部機器を停止します。

MDは停止状態になります。

- 外部機器の停止ボタンを押して録音を止めると、無録音状態が約5秒
経過後MD録音が一時停止します。

録音をスタートしたとき



途中で録音を止めるには

■・C ボタンまたは、外部機器の停止ボタンを
押す。



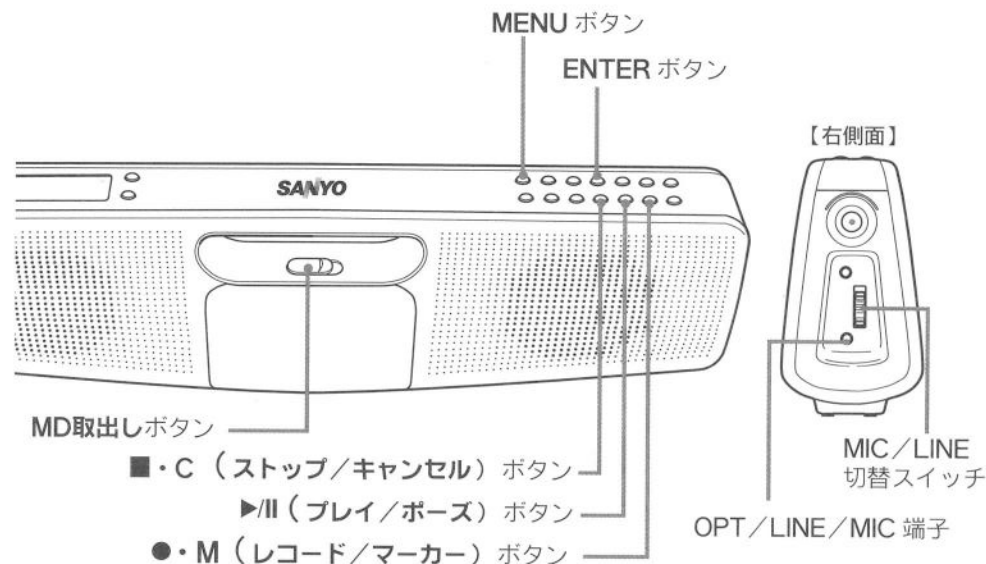
ちょっとこれを!

- MDの残時間が足りないと「DISC FULL」が表示
され、録音はできません。

(つづく)

内蔵マイク・ラジオ音声▶MD

途中まで録音済のMDに続けて録音する場合などに便利です。



1 MDを入れる。

2 内蔵マイク より録音するとき

本機より約30cm程度離して録音する
ようにしてください。

- 静かなところで内蔵マイクを使って録音
すると、動作音も録音されることがありま
すが、これらは故障ではありません。

ラジオ音声 を録音するとき

録音したい放送を受信する。[P21~28]

AM放送を録音するまに

- AM放送を録音するには、AMループアンテナを
接続しないと録音はできません。

- ・Mボタンを押して録音待機状態にしたあと、AM
ループアンテナを本体から離して、AM放送が最も
きれいに聞こえるように調節してください。

FM放送を録音するまに

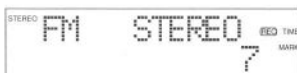
- ・Mボタンを押して録音待機状態にしたあと、ロッ
ドアンテナを根元まで全部出して伸ばし、最も良
く聞こえるようにします。

MDに録音をする

3 ●・M ボタンを押す。

- 「REC (曲番)」が表示されて録音待機状態になります。

(例) ラジオを録音するとき



点滅

4 MENUボタンを押し「Rec Mode」が表示され、ENTERボタンを押すと、「STEREO Rec」または「MONO Rec」と「Sens : HIGH」または「Sens : LOW」が表示される。

- 「Sens : HIGH」/「Sens : LOW」は内蔵マイク感度の切り換え用です。

- ENTER ボタンを押す。⇒「STEREO Rec」点滅
- 「+」または「-」ボタンで「STEREO Rec」または「MONO Rec」を選ぶ。
- ENTER ボタンを押す。⇒「Sens : HIGH」点滅
- 「+」または「-」ボタンで「Sens : HIGH」または「Sens : LOW」を選ぶ。
- ENTER ボタンを押す。

- 「MONO Rec」を選ぶとモノラルで録音され、MDに録音できる時間が約2倍になります。

MONO Rec
Sens:HIGH

5 ●・M ボタンを押す。

録音が始まります。



「REC」と「TOC」が点灯

録音を終えるときは

- ・Cボタンを押す。
- ラジオ音声を録音中は、MDのみ停止します。

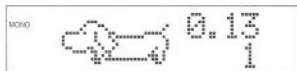
ご注意

- ラジオ録音時AM、FMモノラル放送でも表示部にSTEREO表示が出ますが、放送と間違わないようにしてください。

録音済みの曲の録音モードはMDを再生中の表示部で確認してください。

「MONO」が表示されるものはモノラル録音です。

「MONO」が点灯



外部接続して使う場合は「他の機器を接続して使う」を参照してください [P49]

(つづく)

録音を一時的に止めるには

録音中、▶/|| ボタンを押す。

- 「REC」表示が点滅します。

録音を再開するときは▶/|| ボタンを再度押します。

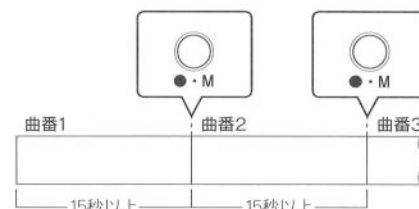
この時、自動的に曲番が1つ増えます。

録音中に好きな所で曲番をつけるには

録音中に、曲番をつけたい所で ●・M ボタンを押す。

ラジオ音声やラインファンクションからの録音は、1回の録音を1曲としてひと続きで録音されます。

録音中に自分で曲番をつけることにより、好きな所で頭出しができるようになります。



- 曲番が1つ増えて録音が続きます。
- 誤って曲番をつけたときは、録音したあとで、曲をつなぐことができます。
- 曲番をつけるときは、15秒以上間を空けたあと●・Mボタンを押します。

自動的に曲番をつける (オートマーカー機能)

[LINE] ▶ [MD] に録音するときに無音部分が約1.5秒以上続く所を曲間とみなして、曲番を自動的につけます。

次のような場合は正常に動作しないことがあります。故障ではありません。

- 無音部分が短いとき
- 無音部分に雑音があるとき
- 極端に短い曲を録音したとき
- 特に音の小さい曲などを録音したとき
- 「TOC FULL」が表示されたとき

曲間に曲番がうまくつかなかったときは、DIVIDE またはCOMBINE機能で編集してください。

[P40~41]

オートマーカー機能の切り替えかた

●・Mボタンを押して、MDを録音待機状態にし、MENUボタンを押して、「Rec MODE」を表示させる。

次に、ENTERボタンを押して、MENUボタンそしてENTERボタンを押して「+」または「-」ボタンで (MARK OFF / LEVEL MARK / TIME MARK) を切り替える。

決まれば、ENTERボタンを2度押せば操作終了です。

MDに録音をする

設定した時間ごとに自動的に曲番をつける(タイムマーカー機能)

[LINE] ▶ [MD] に録音するとき、設定した時間が経過するたびに曲番を自動的につけます。

- シンクロ録音と併用して使用できます。

タイムマーカー機能を設定するには……

- 1 MENU ボタンで「Rec MODE」の表示がでるまで押す。
- 2 ENTER ボタンを押す。
- 3 MENU ボタンを押す
「MARK OFF」、「LEVEL MARK」または「TIME MARK」が表示されます。
- 4 ENTER ボタンを押す。
- 5 「+」または「-」ボタンで「TIME MARK」を選ぶ。
- 6 曲番をつけたい時間を「◀◀」または「▶▶」で選ぶ。時間は2、3、5、10、15、20、30、45分とあります。
- 7 ENTER ボタンを押し、さらにもう一度押して設定が完了です。

無音ごとに自動的に曲番をつける(レベルマーカー機能)

[LINE] ▶ [MD] に録音するとき、1.5秒間無音が続くと、次に音が入ったときに曲番を自動的につけます。

- シンクロ録音と併用して使用できます。

レベルマーカー機能を設定するには……

- 1 MENU ボタンで「Rec MODE」の表示がでるまで押す。
- 2 ENTER ボタンを押す。
- 3 MENU ボタンを押す
「MARK OFF」、「LEVEL MARK」または「TIME MARK」が表示されます。
- 4 ENTER ボタンを押す。
- 5 「+」または「-」ボタンで「LEVEL MARK」を選ぶ。
- 6 ENTER ボタンを押し、さらにもう一度押して設定が完了です。

スタート、ストップ、ポーズ、動作を同期する(シンクロ機能)

[LINE] ▶ [MD] に録音するとき、録音ソースと本機のMDトラック切り替えが同期します。

シンクロ機能を設定するには……

- 1 MENU ボタンで「Rec MODE」の表示がでるまで押す。
 - 2 ENTER ボタンを押す。
 - 3 MENU ボタンを押す
 - 4 ENTER ボタンを押す。
 - 5 ENTER ボタンを押す。
「SYNC ON」または「SYNC OFF」が表示されます。
 - 6 「+」または「-」ボタンで「SYNC ON」を選ぶ。
 - 7 ENTER ボタンを押して設定が完了です。
- シンクロ録音をはたらかすにはデジタル録音するときに有効です。そのためにはデジタルコードが必要です。

録音したMDを編集する

(つづく)

自分で録音したMDをあなただけのオリジナルMDにするため、次のような編集機能があります。

- MDが誤消去防止の状態のときは、「PROTECTED」が表示され、MDを編集することはできません。[P60]

曲を移動する—MOVE機能 [P39]

録音した曲の順序を1曲ずつ移動して、曲番を入れ換えるのがムーブ機能です。

MDに直接記録されますので、電源を切ったり、MDを取り出しても変えた順序は変わりません。



曲を分ける—DIVIDE機能 [P40]

1つの曲を途中から2つの曲に分けて曲番をつけるのがデバイド機能です。



曲と曲をつなぐ—COMBINE機能 [P41]

連続する2つの曲をつないで1曲にまとめるのがコンバイン機能です。



曲を消す—TRACK ERASE機能 [P42~43]

録音した曲を上から録音し直すことなく、曲番を指定するだけで簡単に消すのがイレース機能です。

MDに録音されている曲すべてを一度に消すことができるALL ERASE(オール イレース)機能もあります。



ディスク名や曲名をつける—NAME EDIT機能 [P45~48]

録音したMDにディスク名をつけたり、曲に曲名をつけたりするのがネームエディット機能です。文字の種類は、アルファベットの太文字/小文字、カタカナ、数字、記号があります。

(例)

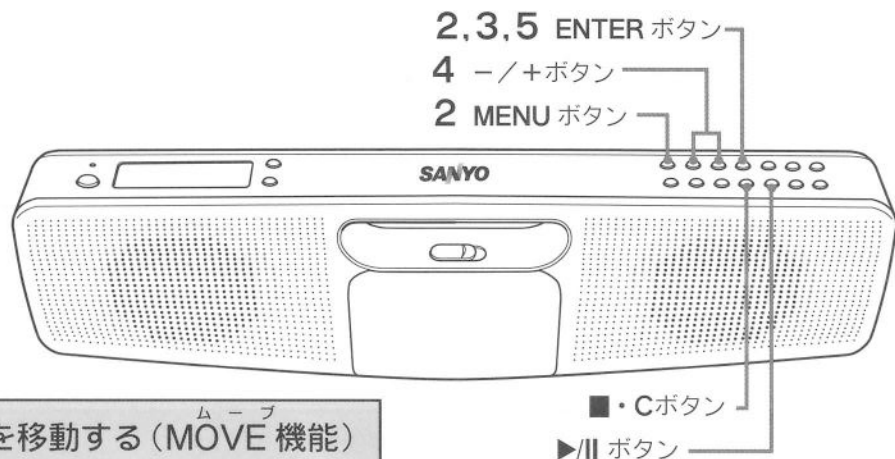
Disc 11 00.15
Love Song

ディスク名表示

STEREO 13 10.15
Love Song

曲名表示

録音したMDを編集する



曲を移動する (MOVE 機能)

- 移動させたい曲の再生中、 ボタンを押す。
一時停止状態になります。
● 停止状態でTRACKを選択しているときもできます。

- 表示部に「MOVE」を表示させる。
① MENU ボタンを押して「EDIT」表示がでるまで押す。
② ENTER ボタンを押す。⇒「NAME EDIT」表示
③ MENU ボタンを押す。⇒「TRACK EDIT」表示
④ ENTER ボタンを押す。⇒「TRACK ERASE」表示
⑤ MENU ボタンを押す。⇒「DIVIDE」表示
⑥ MENU ボタンを押す。⇒「MOVE」表示

1 0.03
XMOVE

- ENTER ボタンを押す。
●「PROTECTED」、「PLAY ONLY」が表示されたときは曲を移動することはできません。

1 → 1
MOVE? 「1」が点滅

- 「+」または「-」ボタンで移動先を選ぶ。

1 → 2
MOVE?

(例) 曲番1を曲番2へ移動

- ENTER ボタンを押す。
曲が移動して、移動した曲の頭で一時停止状態になります。

NOW EDITING

途中で取り消したいときは

5 の ENTER ボタンを押すまでに、■・C ボタンを押してください。

(つづく)



曲を分ける (DIVIDE 機能)

- 再生中に曲を分けたいところで ボタンを押す。
一時停止状態になります。

- 表示部に「DIVIDE」を表示させる。
① MENU ボタンを押して「EDIT」表示がでるまで押す。
② ENTER ボタンを押す。⇒「NAME EDIT」表示
③ MENU ボタンを押す。⇒「TRACK EDIT」表示
④ ENTER ボタンを押す。⇒「TRACK ERASE」表示
⑤ MENU ボタンを押す。⇒「DIVIDE」表示

1 0.03
XDIVIDE

- ENTER ボタンを押す。
●「PROTECTED」、「TRKPROTECT」、「PLAY ONLY」が表示されたときは曲を分けることはできません。

1 0.03
DIVIDE?

(例) 曲番2を分けるとき

- もう一度、ENTER ボタンを押す。
曲が分けられて、うしろの曲の頭で一時停止状態になります。
● 分けた曲以降の曲番は、1つずつ増えます。
● 曲名や録音日時が記録されている曲を分けたときは、前の曲はもとの曲名が記録され、後の曲は曲名が未入力となります。録音日時は、両方とも元の曲のままとなります。


NOW EDITING

途中で取り消したいときは

4 の ENTER ボタンを押すまでに、■・C ボタンを押してください。

録音したMDを編集する

曲と曲をつなぐ (COMBINE 機能)

- 1 つなぎたい2つの曲の後の曲を再生し  ボタンを押す。
一時停止状態になります。
● 停止状態でTRACKを選択しているときもできます。

- 2 表示部に「COMBINE」を表示させる。

- ① MENU ボタンを押して「EDIT」表示がでるまで押す。
- ② ENTER ボタンを押す。⇒「NAME EDIT」表示
- ③ MENU ボタンを押す。⇒「TRACK EDIT」表示
- ④ ENTER ボタンを押す。⇒「TRACK ERASE」表示
- ⑤ MENU ボタンを押す。⇒「DIVIDE」表示
- ⑥ MENU ボタンを押す。⇒「MOVE」表示
- ⑦ MENU ボタンを押す。⇒「COMBINE」表示

3 00.3
XCOMBINE

(例) 曲番2と3をつなぐとき

- 3 ENTER ボタンを押す。
● 「PROTECTED」 「TRKPROTECTED」 「PLAY ONLY」
が表示されたときは曲をつなぐことはできません。

2 + 3
COMBINE?

- 4 もう一度、ENTER ボタンを押す。
2つの曲がつながり、つながった曲の頭で一時停止状態になります。

NOW EDITING

- つないだ曲以降の曲番は、1つずつ減ります。
- 曲名や録音日時が記録されている曲をつないだときは、次のようになります。
 - 前の曲に記録されている曲名がつきます。
 - 後ろの曲だけに記録されているときは、曲名はつきません。

- 次のような曲はつなぐことはできません。
- ステレオモードで録音された曲とモノラルモードで録音された曲
- デジタル録音した曲とアナログ録音した曲

途中で取り消したいときは

4 の ENTER ボタンを押すまでに、■・C ボタンを押してください。

(つづく)

すべての曲を消す (ALL ERASE 機能)

- 1 消したい MD を入れて、電源を入れ、■・C ボタンを押す。
MDファンクションにします。

- 2 表示部に「ALL ERASE」を表示させる。

- ① MENU ボタンを押して「EDIT」表示がでるまで押す。
- ② ENTER ボタンを押す。⇒「NAME EDIT」表示
- ③ MENU ボタンを押す。⇒「TRACK EDIT」表示
- ④ MENU ボタンを押す。⇒「ALL ERASE」表示

Dsc 12 60.18
XALL ERASE

(例) 12曲入りのMDの内容をすべて消すとき

- 3 ENTER ボタンを押す。
● 「PROTECTED」と表示のでるMDの曲を消すことはできません。

Dsc 12 60.18
ERASE OK?

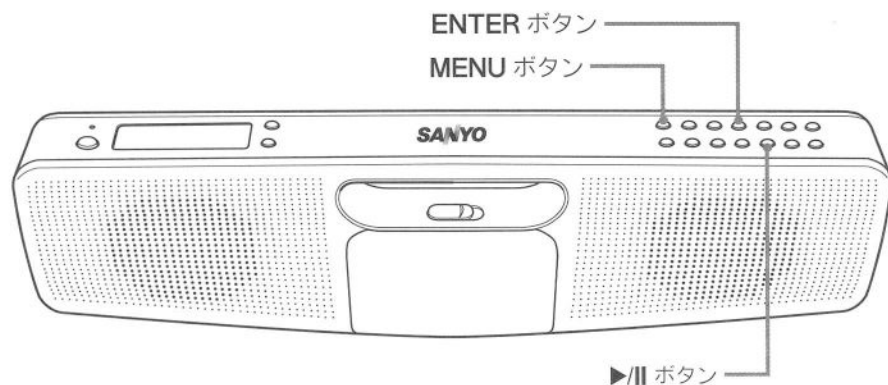
- 4 ENTER ボタンを押す。
すべての曲と曲名が消えます。

NOW EDITING

↓
Dsc 0 0.00
BLANK DISC

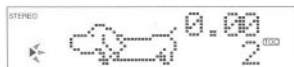
編集

● 録音したMDを編集する



1曲ずつ消す (ERASE^{イ レ ース}機能)

- 1 消したい曲を再生し、 ボタンを押す。
一時停止状態になります。
● 停止状態でTRACKを選択しているときもできます。
-
- 2 表示部に「TRACK ERASE」を表示させる。
① MENU ボタンを押して「EDIT」表示がでるまで押す。
② ENTER ボタンを押す。⇒「NAME EDIT」表示
③ MENU ボタンを押す。⇒「TRACK EDIT」表示
④ ENTER ボタンを押す。⇒「TRACK ERASE」表示
-
- 3 ENTER ボタンを押す。
● 「PROTECTED」、「TRKPROTECT」、「PLAY ONLY」
が表示される曲は消せません。
-
- 4 ENTER ボタンを押す。
曲が消されて、次の曲の頭で一時停止状態になります。
● 消した曲以降の曲番は、1つずつ減ります。
● 一度消すと、もとに戻すことはできません。消したい曲をよく確認。
● 停止状態のときは、曲を選んだ状態でおこなってください。
-
- 5  ボタンを押すと次の曲の再生が開始されます。

ディスク名や曲名をつける前に

- 1枚のMDIに、ディスク名は1つだけ、曲名は最大255曲つけることができます。
入力できる文字数について

ディスク名の入力文字数	最大100文字（スペース含む）	100文字をこえると
曲名の入力文字数	最大100文字（スペース含む）	「NAME ^{ネーム} FULL ^{フル} 」が表示されます。
1枚のMDの入力文字数	ディスク名と曲名を合わせて 約1700文字（スペース含む）	入力文字数をこえると 「NAME ^{ネーム} FULL ^{フル} 」が表示されます。

- カタカナを入力したときは、上記文字数より入力できる文字数は少なくなります。

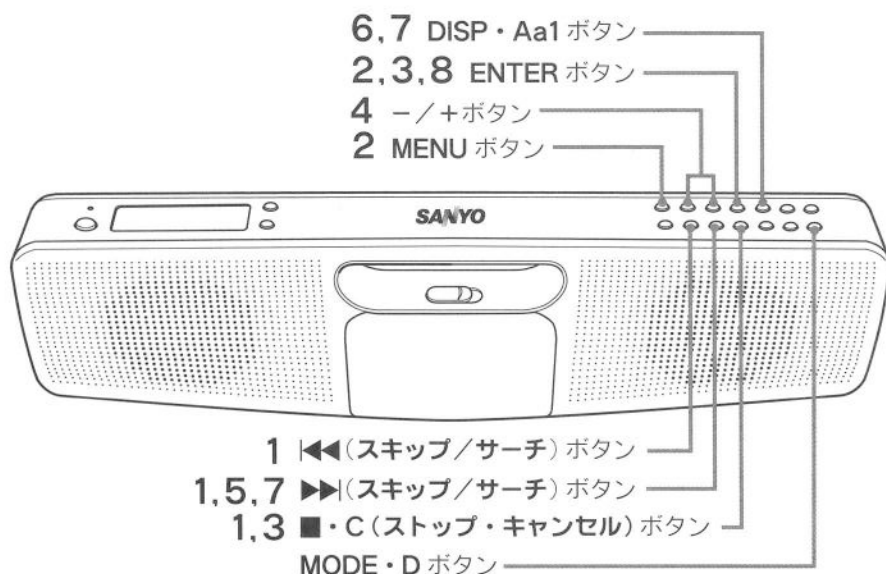
文字の種類について

文字の種類	文字(記号)
	 または 
アルファベットの大文字 (ABC)	A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z
アルファベットの小文字 (abc)	a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z
数字 (123)	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
カタカナ (アイウ)	ア イ ウ エ オ ア イ ウ エ オ カ キ ク ケ コ ガ キ ク ケ コ サ シ ス セ ソ ザ シ ス セ ソ タ チ ツ テ ト ヲ タ チ ツ テ ト ナ ニ ノ ネ ノ ハ ヒ フ ヘ ホ バ ビ フ ヘ ホ バ ビ フ ヘ ホ マ ミ ム メ モ ヤ ユ ヨ ヤ ユ ヨ ラ リ ル レ ロ ワ ヲ ン ー
記号 (!?*)	! ? * & % ' () + = / = ' : ; # \$ % @ < > [] ←スペース

- カーソルの位置になにも文字が入力されていないときに「▶▶」ボタンを押すと、「スペース」が入力されます。
- 「◀◀」または「▶▶」ボタンを押し続けると連続してカーソルが移動します。
- 文字の入力モードにしたときは、アルファベットの太文字入力モードが選択されています。

録音したMDを編集する

ディスク (DISC) や曲 (TRACK) に名前をつける (NAME EDIT機能)



MDの■・C ボタンを押して、MDファンクションにする

(例) ディスク名「Love Song」を入力します。

- 1 **ディスク名** をつけると **曲名** をつけたいときは、一度 ■・C ボタンを押して「<<」または「>>」ボタンを押して曲を選択する。
● 曲名をつけるときは、一時停止または停止状態にしてください。

- 2 表示部に「DISC NAME」を表示させる。

- ① MENU ボタンを押して「EDIT」表示がでるまで押す。
- ② ENTER ボタンを押す。⇒「NAME EDIT」表示
- ③ ENTER ボタンを押す。⇒「TRACK NAME」表示
- ④ MENU ボタンを押す。⇒「DISC NAME」表示

Disc 2 15.32
DISC NAME

- 3 ENTER ボタンを押す。

文字入力状態になります。

- 操作を取り消したいときは ■・C ボタンを押してください。

WXYZ A B C D E F

カーソルが点滅

- 4 「L」が表示されるまで、「+」または「-」ボタンを押す。

HIJK L MNOPQ

- 5 ボタンを押す。

「L」の文字が入力され、次の文字部へカーソルが移動します。

HIJK L MNOPQ

「L」が点灯、カーソルが点滅

- 6 DISP·Aa1 ボタンを押す。

アルファベットの小文字入力モードになります。

xyz a b c d e f

- 7 「+」または「-」ボタン及び、DISP·Aa1 ボタンを押して、ご希望の文字を入力する。

- ① 「o」を表示させ、>>> ボタンを押す。

①のときの表示

klmn o pqrst
Lo

- ② 「v」を表示させ、>>> ボタンを押す。

④のときの表示

abcd e fghij
Love

- ③ 「e」を表示させ、>>> ボタンを押す。

- ④ >>> ボタンを押してスペースを入れる。

- ⑤ DISP·Aa1 ボタンを押して「ABC---」を表示させ、アルファベットの大文字入力モードにする。

⑤のときの表示

WXYZ A B C D E F
Love

- ⑥ 「S」を表示させ、>>> ボタンを押す。

- ⑦ DISP·Aa1 ボタンを押して「abc---」を表示させ、アルファベットの小文字入力モードにする。

⑥のときの表示

OPQR S TUVWX
Love S

- ⑧ 「o」を表示させ、>>> ボタンを押す。

- ⑨ 「n」を表示させ、>>> ボタンを押す。

- ⑩ 「g」を表示させる。

⑩のときの表示

cdef g h i j k l
Love Song

- 8 ENTER ボタンを押す。

ディスク名または、曲名の入力が終わりました。

- 13文字以上の文字を入力したときは、1回スクロール表示した後、最初の12文字を表示します。

NOW EDITING

Disc 2 15.32
Love Song

「TOC」が点灯

- 「PROTECTED」、「TRKPROTECT」、「PLAY ONLY」が表示される曲は、曲名やディスク名をつけることはできません。

録音したMDを編集する

入力中に文字の入れまちがいに気づいたときは

- 1 「◀◀」または「▶▶」ボタンを押して、修正したい文字を点滅させる。
- 2 MODE・Dボタンを押して、文字を削除する。
- 3 正しい文字を入力する。

ディスク名または、曲名を修正する

- 1 ディスク名または曲名の入力状態にする。
 - ディスク名のときは、[P45]の1～3の操作。
- 2 「◀◀」または「▶▶」ボタンで追加(削除)したい位置にカーソルを移動する。

文字を追加する

- 3 「+」または「-」ボタンを押して文字を入力する。

(例)「o」と「g」のあいだに「n」を追加するとき、「g」にカーソルを移動させます。

Love Song

- カーソルより右の文字は、すべて1つずつ右へ移動します。
- 文字と文字のあいだに空白(スペース)を入れるには、文字モードを記号にして空白(スペース)を選んでください。

Love Song

- 4 ENTERボタンを押す。

NOW EDITING

● 文字を変更したいときは、変更したい文字を削除した後、文字を入力(追加)してください。

ディスク名または、曲名を消去する

- 1 ディスク名または曲名の入力状態にする。
 - ([P45]の1～3の操作)

- 2 MODE・Dボタンを押す。

- 一回押すごとに点滅している文字を1文字ずつ消去することができます。



- 3 ENTERボタンを押す。

- ディスク名または、曲名が消去されました。

Dsc 1 2.10
NO NAME

- 消去の途中でENTERボタンを押した場合、残りの名前のままで表示する。

●他の機器を接続して使う

接続上のご注意

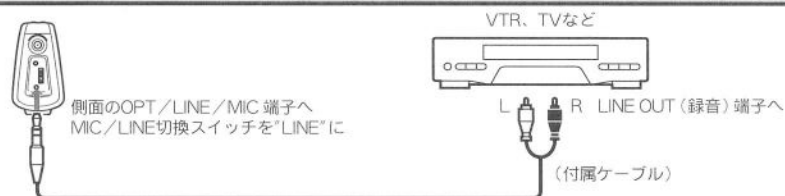
- 接続する前に、各機器の電源を切っておいてください。
- 接続コードはしっかり差し込んでください。
- コードを抜くときは必ずプラグを持って抜いてください。
- くわしい操作は各機器の説明書をごらんください。

外部マイクからの音をMDに録音する

- 1 マイクを接続する。
外部マイクには必ずプラグインパワー方式のステレオマイクをご使用ください。他の方式のマイクを接続すると故障の原因となります。
※プラグインパワー方式とは、マイクをつなぐとマイクに電源が供給され、マイクが動作する方式です。
- 2 録音用MDを入れる。
- 3 電源をONにして、■・Cボタンを押す。
●マイクは直径3.5mmステレオミニプラグ付きのものをお使いください。
●マイクの音はスピーカーでモニターできますがマイクと本体は離してご使用ください。離さないとうわリングが起きることがあります。
●事前にためし録音をすることをおすすめします。録音レベルはマイクとくちもととの距離で調節してください。
- 4 MIC/LINE切換スイッチを「MIC」にする。
- 5 ●・Mボタンを押し、▶/■ボタンを押す。
●「TOC READ」表示が消えてから▶/■ボタンを押してください。
●MDが録音状態になります。

OPT/LINE/MIC端子からの音をMDに録音するときは、オートマーカー機能が使えます。P36
無音部分（約1.5秒以上）に曲番を自動的につけます。

VTRやTVの音を聞いたり録音するには



他の機器の音を本機で聞くには……

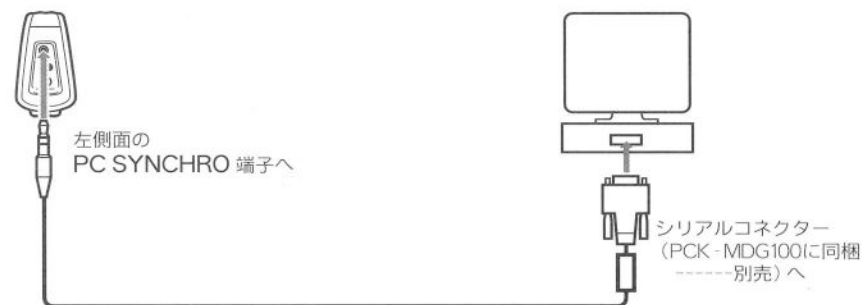
- 1 接続した機器を音が出る状態にする。
- 2 本機の●・Mボタンを押してモニター音が出る状態にします。
- 3 本機の音量はVOLボタンで調節します。

他の機器の音を本機で録音するには……

上記の1～3の操作をした後、本機に録音用MDを入れて、▶/■ボタンを押してMDを録音状態にする。P32, 33

- 事前にためし録音することをおすすめします。

パソコンと接続するには



パソコン接続を終了するには……

- 1 本体のPC SYNCHRO端子とパソコンのシリアルコネクターをつなぐ。
 - 2 電源をONにして、■・Cボタンを押し、MDを停止状態にする。
 - 3 パソコンのアプリケーションを起動する。
接続が正常な場合「PC CONNECT」と本機表示部に表示します。
●PC CONNECT表示の状態では本体キーは働きません。
全てパソコンからの操作になります。
●PCアプリケーションの操作は、別途ソフトを購入されごらんください。
- パソコンのアプリケーションを終了すると通常モード、通常表示に戻ります。
●パソコンのアプリケーションソフト（PCK-MDG100……別売）は近日発売予定です。本ソフトでディスク名や曲名が容易に入力できます。
※PCK-MDG100はDOS Vにのみ対応しています。

内部機器より録音する場合は「内蔵マイク・ラジオ音声▶MD」を参照してください。

P34・35

●タイマーの使いかた

おめざめタイマーで音楽を聞く

ON-OFFタイマーを設定しますとめざまし時計のかわりにラジオ・MDなどを鳴らすことができます。おめざめ時に音がだんだん大きくなるフェードイン機能があります。

タイマーは一度設定すれば毎日同じ時刻に働きます。

- 年月日のタイマー設定はできません。

設定の流れ

音源を選ぶ

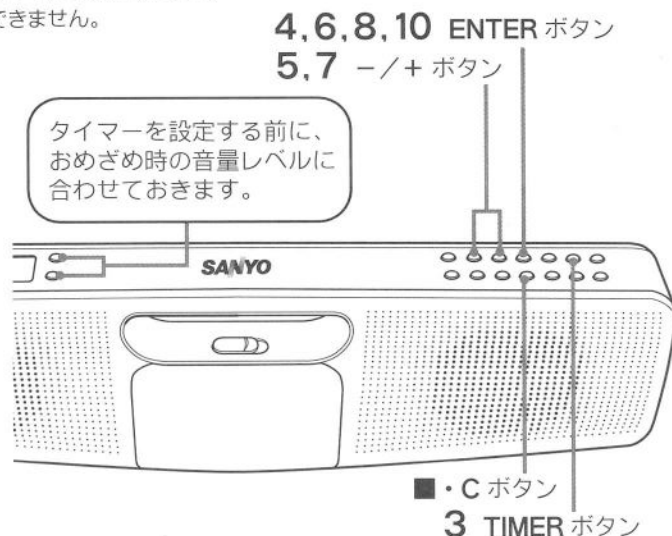
ON時刻を設定する

OFF時刻を設定する

PLAYモードを選ぶ

電源を切る

タイマーを設定する前に、おめざめ時の音量レベルに合わせておきます。



(例) MD再生で7:30 (午前7時30分)におめざめし、8:00 (午前8時00分)まで聞きます。

1 MD再生でめざまめたいとき

MDを入れる。

- タイマー動作時、1曲目から再生します。

繰り返し(リピート)再生 **P19** をしたいときはあらかじめ設定してください。



(例) MDの場合

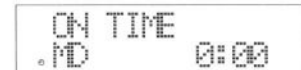
ラジオ音声でめざまめたいとき

放送局を受信する。

2 ご希望の音量レベルにしておきます。

3 TIMER ボタンを押す。

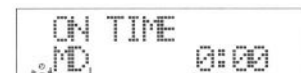
前回設定されたファンクションとON時刻が表示され、「④」表示が点灯します。



前回のファンクションが表示される。

4 10秒以内にENTER ボタンを押す。

現在のファンクションが表示され、「④」と「時」表示が点滅します。



現在のファンクション。

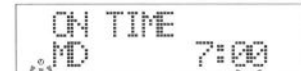
5 「+」または「-」ボタンを押して「時」表示を合わせる。

- ボタンを押し続けると、「時」表示は連続的に進みます。



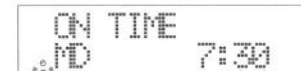
6 ENTER ボタンを押す。

「時」は点灯し、かわって「分」表示が点滅します。



7 「+」または「-」ボタンを押して「分」表示を合わせる。

- ボタンを押し続けると、「分」表示は連続的に進みます。
- 「分」表示が「59」から「00」になっても、「時」表示は繰り上がりません。



8 ENTER ボタンを押す。

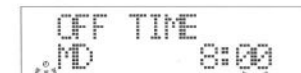
これでON時刻の設定が終わりました。

今度は、OFF時刻に変わり「④」と「時」表示が点滅します。



9 上記5～7と同様にOFF時刻を合わせる。

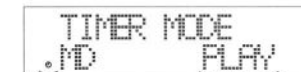
(例) MDでおめざめ



10 ENTERボタンを押す。

これでOFF時刻の設定が終わりました。

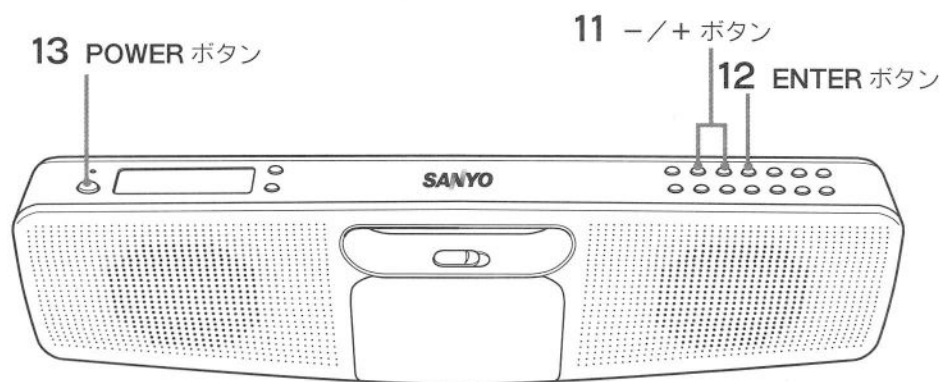
前回設定されたタイマー動作モード(「PLAY」または「REC」)と「④」表示が点滅します。



(例) MDの再生

途中で取り消したいときはすべての設定が終わるまでに、■・C ボタンを押してください。

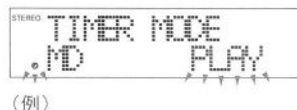
● タイマーの使いかた



11 「+」または「-」ボタンを押して「PLAY」を選ぶ。

- ボタンを押すたびに次の順番で切り換わります。

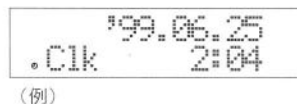
→ PLAY → REC (STEREO) → REC (MONO) →



12 ENTER ボタンを押す。
点滅が止まり元の表示に戻ります。
「④」表示が点灯します。



13 POWER ボタンを押して電源を切る。
表示部に年月日と現在時刻表示が残り、「④」表示が点灯します。



これでタイマー再生の設定が全て終わりました。

- これでタイマーON時刻が来ると、自動的に設定した内容で電源が入り、無音状態から設定された音量レベルまで音量が上がります。(フェードイン機能)
- タイマー動作中は、「④」が点滅で表示します。
タイマーOFF時刻になれば、電源が切れ、タイマーの待機状態(毎日同じ動作をする)になります。
- タイマー動作中にPOWER ボタンを押すと、電源が切れ、タイマーの待機状態になります。

(つづく)

タイマーの内容を確認するには

電源を入れた状態で、

- 1** TIMER ボタンを押す。
ON時刻とファンクションが10秒表示されます。
- 2** 10秒以内にTIMER ボタンを押す。
OFF時刻とファンクションが10秒表示されます。
- 3** 10秒以内にTIMER ボタンを押す。
タイマー動作モード(「PLAY」または「REC」とファンクションが10秒間表示されます。
- 4** 10秒以内にTIMER ボタンを押すと元の表示に戻ります。

- 内容を変更するときは、1、2、3の操作で変更したい表示を出し、ENTERボタンを押してから内容を変更してください。(「おめざめタイマーで音楽を聞くには」P51~52の要領で操作)

タイマーを解除したり再び同じ内容で設定するには

タイマーがセットされている状態で、電源を入れる

- 1** TIMERボタンを押す。
ON時刻とファンクションが10秒表示されます。
- 2** 10秒以内にMODE・D ボタンを押します。



「④」表示が消えタイマーが解除されます。

上記1、2の操作を繰り返すたびに、タイマー動作待機状態←→解除が交互に変わります。

- 3** 再びタイマーの待機状態にするには、タイマー動作待機状態にしたあと、POWERボタンを押して電源を切る。

タイマーファンクションを変更するには

電源を入れた状態で、

- 1** タイマー動作させたいファンクションに変更する。
● ご希望の音量レベルに変更する。
- 2** 「タイマーの内容を確認するには」の1、2、3の操作をする。
タイマーモード(「PLAY」または「REC」とファンクションが点灯します。
- 3** ENTER ボタンを2回押す。
2回目にENTERボタンを押したときのファンクションと音量レベルが記憶されます。

タイマーの使いかた

留守録音をする

設定した時刻に自動的に電源を入れ、お好みのラジオ音声を留守録音することができます。一度設定すれば、毎日同時刻の番組を留守録音することができます。

- 年月日のタイマー設定はできません。
- 留守録音するときにはACアダプターを使うことをおすすめします。

設定の流れ

録音用MDを入れる

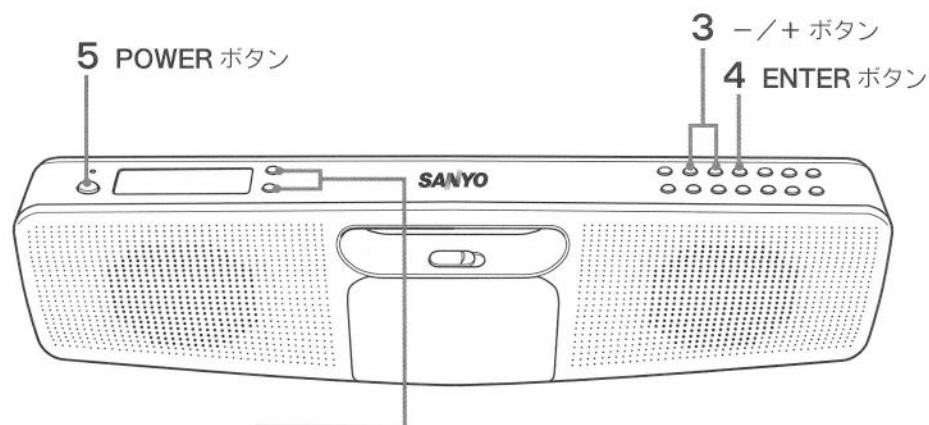
音源を選ぶ

ON時刻を設定する

OFF時刻を設定する

RECモードを選ぶ

電源を切る



留守中、音をださないためタイマーを設定する前に音量レベルを最小にしぼっておきます。

(例) FM放送をMDへ留守録音します。

1 留守録音する放送局を受信します。

STEREO FM PRESET 6
85.1 MHz

(例) FM放送のプリセット番号6の85.1MHzを受信

2 「お目覚めタイマーで音楽を聞く」 [P52] の 3～10 の操作をしてタイマー時間(ON TIME/OFF TIME)を設定する。

3 「+」または「-」ボタンを押して「REC」を選ぶ。
● ボタンを押すたびに次の順番で切り換わります。

STEREO TIMER MODE
FM REC

(例) 「REC」を選択

→ PLAY → REC (STEREO) → REC (MONO)

4 ENTER ボタンを押す。
点滅が止まり元の表示に戻ります。
「④」表示が点灯します。

STEREO FM PRESET 6
88.1 MHz

(例)

5 POWER ボタンを押して電源を切る。
表示部に現在年月日と時刻表示が残り、「④」表示が点灯します。

'99.07.10
.C1k 23:00

(例)

これで留守録音の設定が全て終わりました。

- 録音用MDの録音可能時間を確認して、録音時間のあきがあることをたしかめてください。
- 録音用MDが誤消去防止状態になっていないかたしかめてください。

◆ これで設定時刻になると自動的に設定した内容で録音を始めます。

- 留守録音の動作中は、「④」が点滅で表示されます。

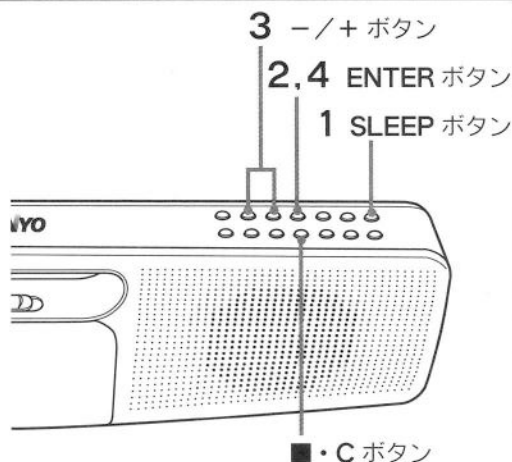
タイマーOFF時刻になれば、電源が切れ、タイマーの待機状態(毎日同じ動作をする)になります。

◆ 「タイマーの内容を確認するには」、「タイマーを解除したり再び同じ内容で設定するには」
[P54]

● タイマーの使いかた

音楽を聞きながら眠る（スリープ）

- おやすみ（スリープ）タイマーを設定しますと、MD、ラジオを聞きながらおやすみになれます。
- スリープ時間には10～160分の中から10分間隔で選べます。
- スリープ終了時には、音がだんだん小さくなって消えるフェードアウト機能があります。
- スリープ時間は変更しないかぎりメモリーしています。



（例）現在動作中のファンクションで30分後に電源が切れるようにします。

- 1 SLEEPボタンを押す。
前回設定したスリープ時間を表示します。
「SLEEP」表示が点灯します。

（例）
- 2 10秒以内にENTER ボタンを押す。
「SLEEP」表示とスリープ時間が点滅します。

（例）
- 3 「+」または「-」ボタンを押して、ご希望のスリープ時間を表示させる。
● 「+」ボタンを押すたびに次の順でスリープ時間が変わります。
（「-」ボタンの場合は逆の順）
→ 10 → 20 → 30 → …… → 160

（例）30分
- 4 ENTER ボタンを押す。
表示部が元の表示に戻り、「SLEEP」表示が点滅します。

（例）FM放送でおやすみ

- スリープ残り時間が1分になると、だんだん音が小さくなり、残り時間が無くなると電源が切れます。

スリープを解除したり再び同じ内容で設定するには

- 1 SLEEP ボタンを押す。
スリープの残り時間が10秒間表示されます。
- 2 スリープ時間が表示されている間に、MODE・Dボタンを押す。



表示部が元の表示に戻り、「SLEEP」表示が消灯し、スリープが解除になります。

上記1、2の操作を繰り返すたびに、スリープ状態←→解除が交互に変わります。

- スリープ残り時間を確認したいときは、スリープ動作中にSLEEPボタンを押すと表示部に残り時間が表示されます。

おやすみ（スリープタイマー）→おめざめ（ON-OFFタイマー）の連続動作ができます。

おやすみ時とおめざめ時に動作させるファンクションを変えることもできます。

- 1 [P51～53]で「おめざめタイマーで音楽を聞く」の1～12の要領でON-OFFタイマーを設定します。
（電源が入った状態で「④」表示が点灯していること）

- 2 前ページの1～4の要領でスリープを設定します。

●その他の機能

時計の24時間表示 ↔ 12時間表示切換

本機の時計は工場出荷時に、24時間表示にセットされていますが、12時間表示に切り換えることもできます。

次のようにして切り換えてください。

- 1 表示部に「DISPLAY」を表示させる。
 - ① MENU ボタンを押して「STATUS」表示がでるまで押す。
 - ② ENTER ボタンを押す。
「現在時刻」が表示されます。
 - ③ MENU ボタンを押す。
「DISPLAY 24 - HOUR」が表示されます。
 - ④ ENTER ボタンを押す。
「24 - HOUR」が点滅します。

2 「+」または「-」ボタンで切換えます。

3 ENTER ボタンを押す。
12時間表示に変わります。
(例) 13:00→PM1:00

再度1~3の操作をすると24時間表示に戻ります。

現在時刻を表示させる

DISP・Aa1 ボタンを押すと、現在時刻を表示します。

- 現在時刻がでるまで押します。



- MDファンクション時の現在時刻表示 (表示例)

MD '99.06.26
C1k 23:02

- DISP・Aa1 ボタンを押すと現在時刻を確認することができます。

ユーザーオリジナルメッセージ

ユーザーオリジナルメッセージとは電源のON、OFF時に表示されるメッセージを自由に設定する機能です。

- 本機には「HELLO!」と「SEE YOU!」のメッセージが初期設定されています。
- 一度設定しますと、設定しなおさない限り、設定したメッセージが表示されます。
- メッセージ表示は最大16文字まで表示入力可能です。

文字の入力方法は表示部に「HELLO MESSAGE EDIT」「SEE YOU MESSAGE EDIT」を表示させてからは録音したMDを編集する[P45. 3~P47]と同じです。

- ① MENU ボタンを押して「STATUS」表示がでるまで押す。
- ② ENTER ボタンを押す。
「現在時刻」が表示されます。
- ③ MENU ボタンを押す。
「DISPLAY 24 - HOUR」が表示されます。
- ④ MENU ボタンを押す。
「HELLO MESSAGE EDIT」さらにMENU ボタンを押す。
「SEE YOU MESSAGE EDIT」が表示されます。
- ⑤ メッセージを変えるところでENTER ボタンを押し、あとは45ページの3項以降を参照してください。

●MDの取扱いと保管

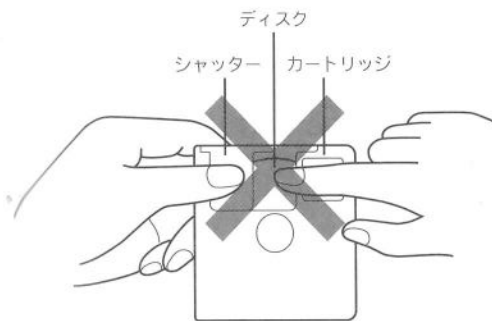
(つづく)

MDの取扱いと保管

MD自体はカートリッジに収納されていますので、ほこり・キズ・指紋などがつきにくく手軽に取扱えるようになっています。ただし、カートリッジのすき間から入る砂ほこりやカートリッジのよれやそりなどが誤動作の原因になることもあります。いつまでも美しい音で楽しめるように次のことに注意してください。

ディスクに直接触れない

- シャッターを手で開けて、ディスクに直接触れないでください。
- シャッターは無理に開けるとこわれます。

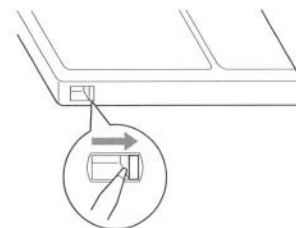


MDの保管について

必ず専用ケースに入れて保管してください。直射日光の当たる所、暖房器具の近くなど温度が高くなる所や湿度の高い所には置かないでください。また、砂浜などカートリッジの中に砂やほこりが入りやすい場所には放置しないでください。

録音したMDを誤って消さないために

MD側面についている誤消去防止つまみを矢印の方向に動かして、孔が開いた状態にします。録音したものは保護され、新しく録音ができなくなります。



再び、録音や編集をするときは誤消去防止つまみをもとに戻し、孔を閉じた状態にします。

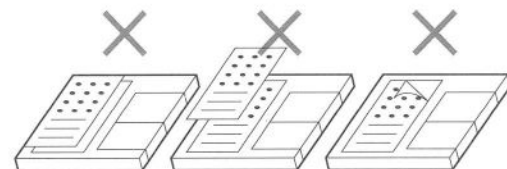


MDにラベルを貼り付けるときのご注意

MDカートリッジにラベルを貼り付けるときは、必ず次のことをお守りください。

正しく貼り付けないと、MDが機器内部につまって取出せなくなることがあります。

- ラベルは指定の場所(エリア内)に正しく貼ってください。
(指定エリア以外には貼り付けしないでください。)
- ラベルを重ねて貼り付けしないでください。
- ラベルがめくれたり、浮いたりしているときは、新しいラベルに貼り換えて使用してください。



● MDの取扱いと保管

MDのお手入れ

カートリッジ表面についたほこりやゴミを乾いた柔らかい布でふきとってください。

シンナーやベンジン、スプレー静電防止剤などは絶対に使用しないでください。

露（水滴）の発生について

- 周囲の温度が急激に変化した場合、内部の光学レンズに露（水滴）が発生することがあり、この状態では正常にMDの動作ができないことがあります。このような場合、MDを取り出してMDドアを開けたまま、使用される場所で約1時間放置した後、ご使用を開始してください。



キャビネットのクリーニング

やわらかい布でふいてください。汚れがひどいときは、石けん水を少し布につけてふきとり、からぶきをしてください。

- ベンジンやアルコール、シンナーなどでふいたりしますと、変質、変色することがありますので使用しないでください。また、殺虫剤もかからないようにご注意ください。

著作権について

- 放送やMD、レコード、その他の録音物（ミュージックテープ、カラオケテープなど）の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。
- 従ってそれらから録音したMDやテープを売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、及び営利（店のBGMなど）のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。
- 使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他手続きについては「日本音楽著作権協会」（JASRAC）におたずねください。

（JASRAC：TEL. 03（3502）6551）

●ドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの米国および外国特許に基づく許諾製品。

● 故障？その前にちょっとこれを！

（つづく）

操作を誤っていてもなかなか気がつかず、すぐ故障と思いがちですが、修理にお持ちになる前にもう一度次の点をお確かめください。それでも異常のある場合は、電源を切り、電源コードをコンセントから抜いて、お買い上げ販売店へご連絡ください。

こんなときは	ここをお確かめください
操作できない	<ul style="list-style-type: none"> ● パソコンと接続状態になっていませんか？ P50 ● 本機が露付き状態になっていませんか？ P61 （約1時間待ってから操作してください。） ● 電池は新しいですか？ ● ACアダプターは接続されていますか？
録音ができない	<ul style="list-style-type: none"> ● MDが誤消去防止状態になっていませんか？ ● 再生専用MD（市販のソフトMD）を録音しようとしていませんか？ ● 表示部が「LOW BATTERY」と表示していませんか？ ● 「TOC FULL」「DISC FULL」になっていませんか？
再生がはじまらない	<ul style="list-style-type: none"> ● MDに露が付いていませんか？ P61 ● MDに傷がありませんか？ P63
MDドアが開かない	ACアダプターを接続するか、または電池を入れてください。 次にPOWERボタンを押し、■・Cボタンを押してから数秒後にMD取出しボタンを操作して、MDを取り出してください。
特定の箇所が正しく再生されない	<ul style="list-style-type: none"> ● MDが汚れていませんか？ ● MDに傷がありませんか？ P63
タイマーが動作しない	<ul style="list-style-type: none"> ● 本機の電源が入っていませんか？ POWER ボタンを押して電源を切る P53

ご注意 録音および「TOC」書き込み中に電源コードまたは、電池を抜き取るような行為は止めてください。故障の原因となります。

ON-OFFタイマーを解除したいとき

表示部に「④」表示が点灯しているときはタイマーが動作待機状態になっています。解除方法については **P54** をごらんください。

MD部エラー表示一覧表

表示部にエラー表示が出たときは、下記の表に従ってチェックしてください。

表 示	意 味	このようにしてください
ノディスク NO DISC	MDが入っていない。 または、データが読めない。	MDを入れる。 または、もう一度入れ直す。
?ディスク ? DISC	データに異常がある。	MDを入れ直してみる。
トック エラー TOC ERROR	ディスクにキズがある、あるいはTOC情報 が読めない。	または、他のMDと取り換える。
ディスク フル DISC FULL	ディスク上に録音できる空きがない。	他の録音用MDと取り換える。
DSC 0 0.00 ブランク ディスク BLANK DISC	なにも記録されていない。 (音楽もディスク名も記録されていない。)	再生するとき、録音されたMDと 取り換える。
プレイ オンリー PLAY ONLY	再生専用MDに録音や編集をしようとした。	録音用MDと取り換える。
プロテクト PROTECTED	MDが誤消去防止状態になっている。	誤消去防止ツマミをもとに戻す。
トック フル TOC FULL	曲番を登録する空きがない。	他の録音用MDと取り換える。
キャン ト レコード CAN'T REC	ディスクの振動やキズのためMDに記録 できない。	他の録音用MDと取り換え、同じ症状が でたら修理の依頼をしてください。
テンプ オーバー TEMP OVER	温度が高くなりすぎた。	電源を切ってしばらく休ませる。
キャン ト エディット CAN'T EDIT	編集できない。	曲の停止位置を変えて、編集し直して ください。
ネーム フル NAME FULL	ディスク名/曲名が100文字をこえている。 または、ディスクに入力されている文字数 が約1700文字をこえている。 カタカナを多く入力しているディスクでは 各制限文字数より少なくてもエラー表示す る場合もある。	ディスク名/曲名を短くしてください。
ディフェクト DEFECT	ディスクにキズがあるため、録音がとぎれ る。	他の録音用MDと取り換える。
キャン ト コピー CAN'T COPY	コピー禁止またはデータCDから録音しよ うとした。	コピー可能なもの(一般のCDなど)に換 えてください。
ノ アンテナ NO ANTENNA	AM放送を録音するとき、外部ループアン テナが接続されていないため録音できない。	外部ループアンテナを接続する。
ロー バッテリー LOW BATTERY	電池の電圧が低くなり動作を止めます。	新品の電池に交換する。

ミニディスクのシステム上の制約

ミニディスクは従来のカセットテープやDATとは異なる方式で録音されます。そのため、録音方法や編集のしかたによって、次のような症状が出る場合があります。

これらは、システム上の制約によるものであり、故障ではありません。

症 状	制 約 事 項
● ミニディスクの最大曲数(254曲)に満たなくとも“TOC FULL”が表示されることがある。	MDシステムでは、TOCにディスク上の録音場所の区切りが登録されます。 何度も部分的に消去して録音をしたり、編集をくり返すと、曲数が最大(254曲)にならなくとも、TOCの情報がいっぱいになり、録音できなくなります。 (このようなディスクは、ALL ERASE機能を行えば最初から使用できます。)
● ミニディスクの最大録音時間に満たなくとも“DISC FULL”が表示されることがある。	ディスクにキズなどがあると、その部分は自動的に録音不可となるため録音時間が少なくなります。
● 短い曲を何曲消しても録音の残り時間が増えないことがある。	ディスクの録音残り時間を表示するとき、12秒以下の短い曲などは曲として数えられません。 このため、短い曲を消しても録音の残り時間が増えないことがあります。
● ディスクに録音した時間と残り時間の合計が最大録音時間と一致しないことがある。	通常は、1クラス(約2秒)を録音の最小単位としていますが、これに満たない曲でも約2秒のスペースを使います。このため、表示された残り時間よりも実際に録音できる時間が少なくなることがあります。 また、ディスクにキズなどがあると、その部分は自動的に録音不可となるため録音時間が少なくなります。 (録音中に“ ^{ディフェクト} DEFECT”と表示され、MDの曲番が自動的に増えます。)
● 編集で曲と曲をつなぐことができないことがある。	録音・編集をくり返しておこなったミニディスクではCOMBINE機能を使えないことがあります。 また、CD、MDなどから録音した曲(デジタル録音)とラジオやテープなどから録音した曲(アナログ録音)をつなぐことはできません。また、モノラル録音した曲とステレオ録音した曲はつなぐことはできません。
● 録音された曲を早聞き再生すると、音がとぎれることがある。	録音・編集をくり返して行ったミニディスクでは、早聞き再生中に音がとぎれることがあります。

●お客さまご相談窓口

まずはお買い上げ販売店へ

家電製品についてのご相談や修理のご依頼
は、お買い上げ販売店へお申し出ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は

下記の相談窓口にお問い合わせください。
総合相談窓口：家電製品についての全般的なご相談
修理相談窓口：修理サービスについてのご相談

総合相談窓口

● 東京ご相談センター

電話 (03) 3815-1111 (直通)
FAX (03) 5803-3699
〒113-8434 東京都文京区本郷3-10-15

● 大阪ご相談センター

電話 (06) 6994-9570 (直通)
FAX (06) 6994-9510
〒570-8677 大阪府守口市京阪本通2-5-5

営業時間 月曜日～金曜日
(祭日および当社の休日を除く)
9:00～12:00、13:00～17:00

修理相談窓口

営業時間 月曜日～土曜日(祭日および当社の休日を除く)
9:00～12:00、13:00～17:30

北海道地区

三洋電機サービス(株) 北海道事業部 ☎(011) 831-9205 〒003-0013 札幌市白石区中央3条4-1-36

[北海道]	札幌	(011) 831-9201	〒003-0013	札幌市白石区中央3条4-1-36
	函館	(0138) 22-6745	〒040-0036	函館市東雲町2-4
	苫小牧	(0144) 33-3421	〒053-0042	苫小牧市三光町2-2-5
	小樽	(0134) 26-0320	〒048-2671	小樽市オタモイ1-8-12
	ST岩見沢	(0126) 22-6416	〒068-0026	岩見沢市六条西1-1
	旭川	(0166) 22-2421	〒070-0073	旭川市曙北三条7-4
	稚内	(0162) 34-2703	〒097-0001	稚内市末広4-1-24
	北見	(0157) 23-4871	〒090-0037	北見市山下町4-7-14
	釧路	(0154) 22-1576	〒085-0021	釧路市浪花町7-7
	帯広	(0155) 24-4973	〒080-0016	帯広市西六条南5-3-8

東北地区

三洋電機サービス(株) 東北事業部 ☎(022) 384-4111 〒981-1225 宮城県名取市飯野坂3-4-8

[青森県]	青森	(0177) 76-6524	〒030-0843	青森市大字浜田字玉川343
	弘前	(0172) 27-4409	〒036-8095	弘前市城東中央5-1-1
	八戸	(0178) 28-9225	〒039-1103	八戸市長苗代字観音堂50-5
[秋田県]	秋田	(018) 862-6551	〒010-0925	秋田市旭南3-2-67
	横手	(0182) 32-1114	〒013-0074	横手山三本柳字寺田129-1
[岩手県]	盛岡	(019) 635-0136	〒020-0863	盛岡市南仙北1-13-6
	釜石	(0193) 23-6735	〒026-0054	釜石市野田町1-10-35
	水沢	(0197) 23-6621	〒023-0003	水沢市佐倉河字羽黒田45
[山形県]	山形	(023) 641-1769	〒990-2432	山形市荒堀町1-21-30
	酒田	(0234) 23-3817	〒998-0842	酒田市亀ヶ崎6-7-16
[宮城県]	仙台	(022) 232-6141	〒983-0035	仙台市宮城野区日の出町3-4-18
	気仙沼	(0226) 22-7206	〒988-0025	気仙沼市内ノ脇2-73-2
	古川	(0229) 28-2343	〒989-6232	古川市沢田字舞台66
	ST石巻	(0225) 96-9796	〒986-0853	石巻市門脇字本草園4-16
	名取	(022) 384-0444	〒981-1225	名取市飯野坂3-4-8

(つづく)

関東地区

三洋電機サービス(株) 関東事業部 ☎(048) 443-0111 〒335-0026 埼玉県戸田市新曽南3-16-3

[東京都]	城東	(03) 3607-3191	〒125-0051	葛飾区新宿4-10-15
	江東	(03) 3685-8166	〒136-0071	江東区亀戸1-8-6
	足立	(03) 3884-5456	〒121-0076	足立区平野1-2-5
	城南	(03) 3421-5171	〒154-0003	世田谷区野沢3-5-3
	城西	(03) 3376-3361	〒151-0073	渋谷区笹塚3-1-13
	城北	(03) 3958-1261	〒173-0021	板橋区弥生町72-5
	府中	(042) 364-7721	〒183-0045	府中市美好町2-3-1
[山梨県]	甲府	(0552) 26-2561	〒400-0035	甲府市飯田4-9-14
[神奈川県]	横浜	(045) 939-0281	〒224-0054	横浜市都筑区佐江戸町788 富士商工第二ビル
	横須賀	(0468) 65-8362	〒237-0062	横須賀市浦郷町5-2931-22
	平塚	(0463) 55-3926	〒254-0014	平塚市四の宮842
	相模原	(042) 742-2272	〒228-0805	相模原市豊田17-11
[埼玉県]	大宮	(048) 664-2319	〒330-0038	大宮市宮原町1-30
	狭山	(042) 952-8151	〒350-1334	狭山市狭山42-12
	熊谷	(0485) 32-4555	〒360-0831	熊谷市大字久保島961-5
[千葉県]	千葉	(043) 241-7311	〒260-0025	千葉市中央区問屋町5-20
	松戸	(047) 341-9135	〒270-0023	松戸市八ヶ崎2-1-1
	船橋	(0474) 69-2431	〒273-0063	船橋市習志野台4-11-6
	木更津	(0438) 37-1452	〒292-0803	木更津市幸町3-1-10
[栃木県]	宇都宮	(028) 653-2811	〒321-0106	宇都宮市上横田町1302-12
[茨城県]	水戸	(029) 251-4125	〒310-0044	水戸市西原2-2-26
	つくば	(0298) 64-4751	〒300-3261	つくば市花畑2-15-3
[福島県]	郡山	(0249) 45-6793	〒963-0111	郡山市安積町荒井字戸蘭塔1-7
	福島	(024) 546-6345	〒960-8151	福島市太平寺町ノ内18-2
	会津若松	(0242) 24-1037	〒965-0005	会津若松市一貫町大字亀賀字藤原162-1
	STいわき	(0246) 26-7115	〒973-8402	いわき市内郷御殿町3-89
[群馬県]	太田	(0276) 46-3821	〒373-0852	太田市新井町211-2
	高崎	(027) 362-1151	〒370-0001	高崎市中尾町池の内441
[新潟県]	新潟	(025) 285-2431	〒950-0971	新潟市近江244
	長岡	(0258) 24-0705	〒940-0029	長岡市東蔵王2-3-46
	上越	(0255) 43-3535	〒942-0074	上越市石橋2-2-9

中部・北陸地区

三洋電機サービス(株) 中部事業部 ☎(0586) 71-3401 〒491-0032 愛知県一宮市下沼町3-21-1

[愛知県]	名古屋	(052) 451-3161	〒453-0804	名古屋市中村区黄金通5-10
	岡崎	(0564) 23-3418	〒444-0065	岡崎市柿田町1-2
	刈谷	(0569) 22-2165	〒475-0914	半田市土井山町1-40-1
	一宮	(0586) 71-4181	〒491-0032	一宮市下沼町3-21-1
[静岡県]	静岡	(054) 261-4151	〒420-0813	静岡市長沼885
	沼津	(0559) 63-1000	〒410-0861	沼津市真砂町3-1
	ST伊東	(0557) 35-0059	〒414-0038	伊東市広野4-2-16南伊東ビル
	浜松	(053) 461-8685	〒435-0016	浜松市和田町795-2
[長野県]	松本	(0263) 26-1107	〒390-0835	松本市高宮東1-35
	長野	(026) 227-0504	〒380-0913	長野市川合新田字古敷北4222-41
	上田	(0268) 22-1006	〒386-0002	上田市住吉諏訪田84-6
	飯田	(0265) 24-0287	〒395-0003	飯田市上郷別府1717-1
[岐阜県]	岐阜	(058) 246-3417	〒500-8152	岐阜市入舟町4-33
	大垣	(0584) 73-1573	〒503-0837	大垣市安井町6-5-1
	ST高山	(0577) 32-2946	〒506-0825	高山市石湯町2-319
[三重県]	津	(059) 228-8126	〒514-0838	津市岩田町10-3
	四日市	(0593) 51-2128	〒510-0081	四日市市北町3-8
	伊勢	(0596) 25-7134	〒516-0009	伊勢市河崎町2-19-42
[石川県]	金沢	(076) 237-7811	〒920-0062	金沢市割出町627
	七尾	(0767) 53-5249	〒926-0000	七尾市小丸山台2-51
[富山県]	富山	(0764) 31-8641	〒930-0856	富山市牛島新町2-10
[福井県]	福井	(0776) 22-6082	〒918-8231	福井市問屋町1-17

近畿・四国地区

三洋電機サービス(株) 近畿事業部 ☎(06) 6993-2261 〒570-0086 大阪府守口市竹町4-13

[大阪府]	大阪	(06) 6992-6235	〒570-0086	守口市竹町4-13
	大阪南	(06) 6631-4001	〒556-0015	大阪市浪速区敷津西2-10-9
	大阪東	(0720) 72-6502	〒574-8534	大東市三洋町1-1 306号棟 〔三洋電機(株)大東管理センター構内〕
	阪和	(0722) 21-8571	〒590-0959	堺市大町西3-1-16
	泉南	(0724) 64-0511	〒598-0001	泉佐野市上瓦屋649-1

その他

● お客さまご相談窓口

[奈良県]	奈良	(07442) 2-7888	〒634-0837	橿原市曲川町7-1-31
	和歌山県	(0734) 36-3110	〒641-0006	和歌山市中島369
[兵庫県]	田辺	(0739) 22-7520	〒646-0051	田辺市稲成町南江原318
	新宮	(0735) 22-6466	〒647-0023	新宮市蓬萊2-1-20
[京都府]	神戸	(078) 651-3951	〒652-0897	神戸市兵庫区駅南通2-1-11
	阪神	(06) 6419-4081	〒660-0053	尼崎市南七松町2-4-25
[京都府]	姫路	(0792) 96-2141	〒670-0981	姫路市西庄字八町108
	洲本	(0799) 22-2702	〒656-0101	洲本市納子横竹308-1
[滋賀県]	京都	(075) 672-0877	〒601-8102	京都市南区上鳥羽菅田町41
	福知山	(0773) 27-3458	〒620-0856	福知山市土師宮町1-66
[香川県]	大津	(077) 545-4221	〒520-2134	大津市瀬田1-1-5
	四国	(087) 843-1840	〒761-0104	高松市高松町2175-10
[愛媛県]	新居浜	(0897) 40-5034	〒792-0043	新居浜市土橋1-5-7
	松山	(089) 971-3342	〒791-8036	松山市高岡町148-1
[高知県]	宇和島	(0895) 22-8416	〒798-0074	宇和島市並松2-1-25
	高知	(0888) 60-0229	〒781-5106	高知市介良乙1044
[徳島県]	徳島	(0886) 99-4131	〒771-0219	板野郡松茂町世木野字八北開拓150-2

中国地区

三洋電機サービス(株) 中国事業部 ☎(082) 295-3450 〒733-0012 広島市西区中広町3-17-5

[岡山県]	岡山	(086) 245-1634	〒700-0973	岡山市下中野703-101
	津山	(0868) 22-6133	〒708-0002	津山市上河原239-10
[広島県]	福山	(0849) 25-3455	〒720-0077	福山市南本庄3-1-48
	広島	(082) 293-6511	〒733-0012	広島市西区中広町3-17-5
[山口県]	呉	(0823) 73-2233	〒737-0143	呉市広白石1-1-6
	徳山	(0834) 22-0668	〒745-0025	徳山市築港町12-1
[山口県]	山口	(0839) 73-3391	〒754-0024	吉敷郡小郡町若草町2-6
	下関	(0832) 31-1504	〒750-0017	下関市細江新町3-51
[鳥取県]	鳥取	(0857) 24-2930	〒680-0843	鳥取市南吉方3-107
	松江	(0852) 23-1183	〒690-0017	松江市西津田4-1-14
[鳥取県]	浜田	(0855) 22-7883	〒697-0023	浜田市長沢町3049

九州地区

三洋電機サービス(株) 九州事業部 ☎(092) 924-3434 〒818-8534 福岡県筑紫野市柴6-1-1

[福岡県]	福岡	(092) 441-2541	〒816-0092	福岡市博多区東那珂1-18-12
	北九州	(093) 521-5286	〒802-0023	北九州市小倉北区下富野2-10-28
[佐賀県]	筑豊	(0948) 22-9201	〒820-0067	飯塚市大字川津字中鶴10-4
	久留米	(0942) 21-3534	〒830-0052	久留米市上津町字赤坂1890-2
[佐賀県]	大牟田	(0544) 55-4451	〒836-0073	大牟田市船津町473-1
	佐賀	(0952) 22-3451	〒840-0854	佐賀市八戸1-1-17
[長崎県]	長崎	(0958) 24-5628	〒850-0012	長崎市本河内町922
	佐世保	(0956) 31-7635	〒857-1162	佐世保市卸本町17-1
[熊本県]	熊本	(096) 357-1122	〒861-4106	熊本市南高江3-2-88
	八代	(0965) 35-3483	〒866-0876	八代市田中西町16-7-2
[大分県]	ST天草	(0969) 23-0124	〒863-0043	本渡市亀場町亀川1809-2
	大分	(0975) 43-3454	〒870-0822	大分市大道町3-4-32
[宮崎県]	宮崎	(0985) 29-3441	〒880-0036	宮崎市花ヶ島町観音先883
	延岡	(0982) 34-3603	〒882-0035	延岡市日の出町2-1-2
[鹿児島県]	ST都城	(0986) 25-3099	〒885-0012	都城市上川東1-13街区2-1
	鹿児島	(099) 251-4618	〒890-0068	鹿児島市東都元町11-10
[鹿児島県]	川内	(0996) 23-1667	〒895-0076	川内市大小路町原口2703
	ST鹿屋	(0994) 44-3869	〒893-0013	鹿屋市札元1-21-30
[鹿児島県]	ST名瀬	(0997) 52-4718	〒894-0036	名瀬市長浜町15-16

沖縄地区

沖縄三洋販売(株) サービス部 (098) 878-3411 〒901-2133 浦添市城間4-35-5

(101124)

● アフターサービスについて

保証書について

この商品には保証書がついています。お買い上げの販売店が発行します保証書の「販売店・お買い上げ日」等の記入をご確認のうえ内容をよくお読みになって、大切に保存してください。

保証期間は買い上げ日より1年間です。

修理サービスについて

ご使用中に具合が悪くなったときは「故障?その前にちょっとこれを」[P62]の一覧表に従って調べてください。なおらないときは、内部機構をさわらずに、お買い上げの販売店にご相談ください。

- 保証期間中は
保証書の記載内容により販売店が修理いたします。
詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間が過ぎているときは
修理により機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により有料修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間について

MDレコーダーの補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後8年です。

- この期間は、通商産業省の指導によるものです。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

不明の場合は

お買い上げの販売店か、お近くの「お客さまご相談窓口」[P65~67]にお問い合わせください。

- 転居される場合は
ご転居によりお買い上げの販売店のアフターサービスが受けられなくなる場合には事前に販売店にご相談ください。
- ご贈答の場合は
最寄りの三洋販売店か、または当社の「お客さまご相談窓口」にお問い合わせください。

仕様

MDレコーダー部	
ワウ・フラッター サンプリング周波数 コーディング	測定限界以下 44.1kHz ATRAC (Adaptive TRansform Acoustic Coding)
録音方式	磁界変調オーバーライト方式

チューナー部	
受信周波数	FM:76~90MHz AM:522~1,629kHz
アンテナ	FM:ロッドアンテナ AM:専用AM用 内蔵バーアンテナ ループアンテナ(付属)

時計部	
精度	月差 約±30秒 (周囲温度15℃にて)
表示方式	年、月、日、時、分
電源	内蔵電池
停電保持時間	満充電時:2ヶ月以上 50%充電時:1ヶ月以上
水晶振動数	32,768kHz

共通部	
スピーカー	8cm 円形 4Ω×2
実用最大出力	1.5W + 1.5W (EIAJ/DC)
入力端子	OPT/LINE/MIC 端子 (ステレオミニジャック)×1
パソコン接続端子	RS-232C (φ2.5ミニプラグ)
出力端子	PHONES端子 (ステレオミニジャック)×1 インピーダンス 32Ω
アンテナ端子	AM用専用端子×1
電源	乾電池(別売) DC 9.0V (DC 1.5V × 6) 単3型ネオアルカリ乾電池 外部電源 DC 9.0V 付属ACアダプター
電池持続時間	単3型三洋ネオアルカリ乾電池 LR6 (A) × 6使用時(別売) 光デジタルステレオ録音時:5時間30分 (EIAJ) MDステレオ再生時:7時間 (EIAJ)
最大外形寸法	423 (幅) × 130 (高さ) × 66.5 (奥行) mm (つまみ等突起物含む)
質量	約1.5kg (乾電池含まず)
付属品	ACアダプター×1 AM用ループアンテナ×1 録音用ケーブル×2

※ 上記の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。
※ 包装箱の品番の末尾のアルファベット文字は色表示の記号です。

さくいん

用語でさがしたいときに便利です。

あ	
アップ/ダウン選局	23
イレース機能(ERASE)	43
AM用ループアンテナ	9
ACアダプター	10
エラー表示	63
エリアバンド選局	24~25
オートマーカ機能	36
オートスキャン選局	23
おめざめタイマー	51~54
オールイレース機能(ALL ERASE)	42
音質を調整	15
音量を調整	13
か	
外部機器	49~50
曲番	30
現在時刻表示	59
誤消去防止つまみ(MD)	60
コンバイン機能(COMBINE)	41
さ	
サーチ	19
時刻設定	12
重低音	15
シンクロ録音	32~33
スキップ(頭出し)	19
スリーブ	57~58

た	
タイムマーカ機能	37
露つき	61
ディスクネーム機能	45~48
デバインド機能	40
デモモード表示	16
TOC	29
時計表示切換	59
トラックネーム機能	45~48
トラブル	62

な	
年月日設定	11
残り時間表示	30

は	
ビートキャンセル	22
表示の切り換え	20
プリセットスキャン選局	26
プリセット選局	28
ヘッドホン	14

ま	
マニュアル選局	23
マニュアル録音	34~35
ムーブ機能(MOVE)	39
文字の種類(MD)	44

ら	
リピート演奏	19
留守録音	55~56
レベルマーカ機能	37

わ	
ワンタッチ機能	16

お客さまメモ

お買い上げの際に記入しておいてください。修理などを依頼されるとき便利です。

品番	MDG-U4R		
お買い上げ年月日	年	月	日
お買い上げの 販売店名	電話 ()	—	
最寄りの修理 相談窓口	電話 ()	—	

製造元 **三洋電機株式会社**

本社

〒570-8677 大阪府守口市京阪本通2丁目5番5号

三洋テクノ・サウンド(株)企画部 国内販売課

〒574-8534 大阪府大東市三洋町1番1号

総合相談窓口

家電製品についての全般的なご相談は下記のご相談センターにお問い合わせください。

● 東京ご相談センター

電話 (03) 3815-1111(直通)

〒113-8434 東京都文京区本郷3-10-15

● 大阪ご相談センター

電話 (06) 6994-9570(直通)

〒570-8677 大阪府守口市京阪本通2-5-5

営業時間 月曜日～金曜日(祭日および当社の休日を除く)

9:00～12:00、13:00～17:00

修理や部品に関するご相談は、お買い上げ販売店、または **P65～67** の修理相談窓口にお問い合わせください。